

ISSN 1347-698X  
CODEN:KHK SBS

# 香川県環境保健研究センター所報

第 4 号

Annual Report  
of  
Kagawa Prefectural Research Institute  
for Environmental Sciences and Public Health

Vol. 4  
2005



香川県環境保健研究センター

## はじめに

この度、香川県環境保健研究センター所報第4号として、平成16年度の香川県環境保健研究センターの調査研究事業の結果を取りまとめました。県民の皆様や関係機関の方々に参考にしていただければ幸いです。

さて、数年来タイ、ベトナムをはじめ世界各地で高病原性鳥インフルエンザが流行し深刻な社会不安を起こしております。昨年山口県、京都府でも鳥インフルエンザで大量の鶏が死ぬ事件が起こりました。また、今年新たに茨城県で鳥インフルエンザが発生しましたが幸い人への感染がなく推移しており、今後も感染の無いことを願うところです。

鳥インフルエンザ問題やSARS問題に見られますように近年健康危機管理の重要性がますます大きくなってきています。

また、食品に関しては、牛海綿状脳症(BSE)の問題、健康食品の問題、輸入農作物の残留農薬の問題、未承認の遺伝子組み換え作物を使用した食品問題など消費者の食に対する信頼を揺るがしかねない問題が多く発生しており、食の安全安心の確保が強く求められてきています。

他方、環境分野におきましては、水質汚染、大気汚染、土壌汚染、地下水汚染の問題あるいは廃棄物の問題などの身近な課題から地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などの地球規模の課題まで、問題解決に向けたさまざまな対応が必要となっています。また、自然環境の保全、希少動植物の保護対策など多岐にわたる対応が求められてきています。

さらに今年大きな社会問題となっていますアスベスト問題への対応が喫緊の課題となっています。

このような状況のもと、当研究センターは、保健、環境分野のさまざまな課題に積極的に取り組み、課題解決に向けて職員一同、さらに努力してまいりますので、なお一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

平成17年12月1日

香川県環境保健研究センター

所長 藤田淳二

# 目 次

## 【概 要】

I 沿革	1
II 職員の配置状況	2
III 業務分担	3
IV 職員の異動	5
V 庁舎及び施設概要	7
VI 経理状況	9
VII 業務概要	12
VIII 試験研究のテーマ	30
IX 学会、論文等の報告	33
X 学会・会議等	35
XI 講演、研修会等の概要	40
XII 環保研・学習サポートボックス事業	42
XIII 環境森林部 環境教育・環境学習事業	45
XIV 環境保全・保健衛生関係行事	45
XV 環境月間行事等	46
XVI 環境ライブラリー事業	46
環境保健研究センター規則	47

## 【調査研究】

うどん店の排水処理対策	笹田 康子 他	49
希少水生植物の取組み（第3報）－アサザの成長過程と水質の関係及び花形－	白井 康子 他	57
希少水生植物の取組み（第4報）－浅層地下水の地底への湧出他補足調査－	石原 暁 他	65
水生植物を活用した水質浄化実験（第4報）－豊稔池の水質浄化の試み－	岡井 隆 他	71
畜産系コンポスト化処理時の臭気低減化に関する研究（第2報）		
－残留臭気の高減化（二次処理）に関する研究－	串田 光祥 他	79
うどん湯煮廃液の酵素分解法の検討	三好 益美 他	85
香川県における遺伝子組み換え食品の検査について	西岡 千鶴 他	92
加工食品由来の防かび剤の一日摂取量について	千葉 貴子 他	97

ジャガイモが原因と推定された中毒事例について	安永 恵 他	102
香川県における健康食品中の医薬品成分について (第2報)	千田 有美 他	105
小児ウイルス感染症の動向に関する疫学 (2004)	三木 一男 他	111
生ハムの呈味に影響を与える菌叢の変化	砂原 千寿子 他	119

## [資 料]

香川県における大深度温泉について	牛野 照子 他	125
香川県の河川・海域におけるPCDD/Fsの分布と同族体組成 (平成13-15年度調査結果)	鈴木 佳代子 他	129
中讃地域における大気浮遊粉じん中のひ素の高濃度現象の解析調査	大西 ひとみ 他	137
有害大気汚染物質中のアルデヒド類と常時監視項目との関連について	内田 順子 他	141
直島町におけるSO <sub>2</sub> 高濃度現象の解析	日野 康良 他	146
香川県大気汚染常時監視・関連付属システムの整備について	日野 康良 他	152
香川県における環境放射能調査 (XVI)	壺井 明彦 他	158
疾病鳥獣保護業務の実施状況について	谷川 和美 他	161
産業廃棄物最終処分場放流水中のダイオキシン類濃度について	山本 務 他	165
うどん湯煮廃液の下水消化汚泥を種汚泥としたUASB装置の立ち上げ	藤田 久雄 他	169
最終処分場における化学物質の浸出特性について	久保 正弘 他	172
豊島処分地におけるダイオキシン類の組成について	久保 正弘 他	180
活性炭による1,4-ジオキサン除去	久保 正弘 他	188
豊島処分地関連水における特定ダイオキシン類異性体を用いた簡易迅速定量法の検討	六車 満由美 他	191
保育園での集団発生事例におけるEHEC O157:H7の菌学的特性の検討	多田 千鶴子 他	196
小児病原感染症の動向に関する疫学 (2004)	久保 由美子 他	202
新生児における先天性代謝異常症等のマス・スクリーニング実施状況について (第25報)	土取 みゆき 他	207
香川県における低体重児の副腎過形成症カットオフ値の設定に関する検討	土取 みゆき 他	212
香川県における先天性代謝異常症要精密検査者の解析 (H6年度~H16年度)	西内 尚子 他	217
香川県環境保健研究センターの「環境研・学習サポートボックス」における環境学習事業等の展開について (II)	高橋 敏夫 他	223

## [そ の 他]

投稿規程		231
------	--	-----

# I 沿 革

- 昭和25年5月25日 警務部所管の細菌検査室・衛生試験室を引き継ぎ、高松市宮脇町に香川県衛生研究所として  
(1950年) 発足  
木造平屋建瓦葺 471.5 m<sup>2</sup> 職員、所長以下7名
- 昭和28年3月31日 動物舎木造平屋建瓦葺 37.2 m<sup>2</sup>新築  
(1953年)
- 昭和32年4月1日 庶務課、細菌科、化学科、獣疫科の科制を設置  
(1957年)
- 昭和34年4月1日 香川県衛生検査技師養成所を併設  
(1959年)
- 昭和42年4月21日 高松市宮脇町保健衛生センター6・7階に移転  
(1967年)
- 昭和46年4月1日 香川県衛生研究所を香川県衛生公害研究所と改称、公害科を設置  
(1971年)
- 昭和47年6月1日 科制を廃止  
(1972年)
- 昭和50年4月1日 併設の香川県衛生検査技師養成所が香川県臨床検査専門学校として独立  
(1975年)
- 昭和50年5月31日 高松市松島町高松合同庁舎5・7階に庁舎移転  
(1975年)
- 昭和51年4月1日 香川県衛生公害研究所を香川県衛生研究所と改称し、公害関係部門が香川県公害研究センターとして分離独立  
(1976年)
- 平成3年11月1日 香川県衛生研究所と香川県公害研究センターが高松市朝日町に庁舎建設移転、香川県公害研究センターを香川県環境研究センターと改称  
(1991年)
- 平成14年4月1日 香川県衛生研究所と香川県環境研究センターが統合し、香川県環境保健研究センターを設置  
(2002年)

## II 職員の配置状況

(平成17年6月1日現在)

区 分	総 括	総 務 企画課	環境科学 部 門	廃 棄 物・ リサイクル部門	保健科学 部 門	計
所 長	1					1
次 長	1					1
主 幹			1			1
研究主幹				1		1
課 長		1				1
副主幹(兼)係長		1				1
主席研究員		2	10	3	5	20
係 長		1				1
主 査		1				1
主任研究員			4	2	5	11
一 般 職 員		2	4	1	4	11
嘱 託		1	2			3
計	2	9	21	7	14	53

## Ⅲ 業 務 分 担

(平成17年6月1日現在)

所 長	藤 田 淳 二
-----	---------

次 長	津 村 秀 信
総務企画課長	武 田 寛 次

主 幹 (環境科学部門)	香 川 静 則
研 究 主 幹 (廃棄物・リサイクル部門)	岩 崎 幹 男

課・部門	担 当	所 掌 事 務	職 氏 名
総務 企画	総 務	1. 予算、決算及び会計並びに職員の給与及び服務に関すること。 2. 物品の購入、出納、保管に関すること。 3. 窓口の事務及び収入並びに文書の收受及び発送に関すること。 4. 庁舎管理及び自動車の運行・管理に関すること。 5. その他、他の担当に属さない事務。	総務企画課長 武田寛次 副主幹(兼)係長 藤沢久美子 係 長 水田満由美 主 査 山内麻紀 主 席 技 師 土居秀一 主 任 技 師 植村浩昌 嘱 託 円尾和夫
	企画・情報	1. 環境保全、保健衛生に関する情報の収集等に関すること。 2. 環境保全、保健衛生に関する普及・啓発、教育・学習事業に関すること。 3. 環境保全、保健衛生に関する研修、講習等に関すること。 4. 共同研究等に係る企画及び調整に関すること。 5. 試験、検査等の信頼性確保に係る企画及び調整に関すること。	主 席 研 究 員 高橋敏夫 主 席 研 究 員 六車満由美
環 境 科 学	水 質 水質汚濁 化学物質 水道・温泉	1. 公共用水域、地下水の水質汚濁に関すること。 2. 海域等の底質汚染に関すること。 3. 事業場等の排水に関すること。 4. 水質の化学物質汚染に関すること。 5. 底質の化学物質汚染に関すること。 6. 事業場等の排水の化学物質に関すること。 7. 土壌汚染及び地盤沈下に関すること。 8. 水環境の保全修復に関すること。 9. 水道水・飲料水の水質に関すること。 10. 温泉に関すること	主 席 研 究 員 藤岡博文 主 席 研 究 員 石川英樹 主 席 研 究 員 笹田康子 主 席 研 究 員 片山正敏 主 席 研 究 員 鈴木佳代子 主 任 研 究 員 牛野照子 主 任 研 究 員 砂古口博文 主 任 研 究 員 田中さと子 技 師 岡井隆 嘱 託 溝淵脩彦 嘱 託 ( 兼 ) 藤野恵美
	大 気・常時監視 大気汚染 騒音 振動 臭	1. 環境大気の汚染に関すること。 2. 事業場等から排出される煤煙等に関すること。 3. 室内環境に関すること。 4. 騒音・振動及び悪臭に関すること。	主 席 研 究 員 小山健 主 席 研 究 員 串田光祥 主 席 研 究 員 大西ひとみ 主 任 技 師 野崎一伸 主 任 技 師 岩下陽子 技 師 高尾仁士
	常時監視	1. テレメータシステムによる大気汚染常時監視に関すること。 2. 大気汚染の緊急時の措置に関すること。 3. 環境放射能に関すること。	主 席 研 究 員 日野康良 主 席 研 究 員 壺井明彦
	自然環境	1. 野生動植物の調査、保護、増殖など自然環境の保全に関すること。 2. 傷病鳥獣の保護に関すること。	主 席 研 究 員 ( 兼 ) 片山正敏 主 任 研 究 員 白井康子 嘱 託 藤野恵美

課・部門	担 当	所 掌 事 務	職 氏 名
廃棄物・リサイクル	廃棄物	1. 廃棄物に係る環境影響に関する事。 2. 廃棄物の排出抑制及び適正処理に関する事。	主席研究員 山本 務 主席研究員 久保 正弘 主任研究員 三好 益美 主任技師 稲井 宏樹
	資源化・リサイクル	1. 廃棄物等の資源化・リサイクルに関する事。	主席研究員 藤田 久雄 主任研究員 安藤 友継
保健科学	微生物	1. 食品細菌等に関する事。 2. 細菌感染症等に関する事。 3. 病原細菌等に由来する危機管理に関する事。 4. 残留抗生物質等に関する事。 5. 衛生害虫等に関する事。 6. 原虫等に関する事。 7. 遺伝子検査等に関する事。	主席研究員 砂原千寿子 主席研究員 久保由美子 主任研究員 内田 順子
		ウイルス	1. ウイルス感染症等に関する事。 2. ウイルス等に由来する危機管理に関する事。 3. クラミジア、リケッチヤ感染症等に関する事。 4. 実験動物等に関する事。
	生活科学	1. 食品の化学物質に関する事。 2. 家庭用品に関する事。 3. 遺伝子組換え食品の解析に関する事。 4. 食物アレルギーに関する事。 5. 医薬品、毒劇物に関する事。 6. 化学物質の緊急危害に関する事。	主席研究員 西岡 千鶴 主任研究員 千葉 貴子 主任研究員 安永 恵 主任技師 森 香織 技 師 千田 有美
	臨床科学	1. 先天性代謝異常に関する事。 2. 血液検査に関する事。	主席研究員 多田千鶴子 主任研究員 土取みゆき 主任技師 植田 晶子 技 師 西内 尚子



## IV 職員の異動

## 1. 転入

年月日	職名(配属)	氏名	旧所属
17. 4. 1	環境管理課主幹(兼) 環境保健研究センター(兼執)	香川 静則	丸亀病院
17. 4. 1	総務企画課長	武田 寛次	高松土木事務所
17. 4. 1	主席研究員(環境科学部門)	壺井 明彦	環境・水政策課
17. 4. 1	主席研究員(環境科学部門)	片山 正敏	直島環境センター
17. 4. 1	主席研究員(保健科学部門)	久保由美子	中央病院
17. 4. 1	主席研究員(環境科学部門)	藤岡 博文	県営水道事務所
17. 4. 1	主任研究員(保健科学部門)	安永 恵	東讃保健福祉事務所
17. 4. 1	主任研究員(環境科学部門)	砂古口博文	環境管理課
17. 4. 1	係長(総務企画課)	水田満由美	議会事務局
17. 4. 1	主任技師(廃棄物・リサイクル部門)	稲井 宏樹	環境管理課
17. 4. 1	主席技師(総務企画課)	土居 秀一	総務学事課
17. 4. 1	嘱託(環境科学部門)	溝渕 膺彦	採用
17. 4. 1	嘱託(総務企画課)	円尾 和夫	採用
17. 4. 1	嘱託(環境科学部門)	藤野 恵美	採用

## 2. 転出

年月日	職名(配属)	氏名	新所属
17. 3. 31	次長	塚本 武	退職
17. 4. 1	総務企画課長(総務企画課)	大西 満	消費生活センター
17. 4. 1	主席研究員(環境科学部門)	西原 幸一	産業政策課(かがわ産業支援財団へ派遣)
17. 4. 1	主席研究員(環境科学部門)	多田 薫	直島環境センター
17. 4. 1	主席研究員(総務企画課)	藤川 勇	東讃保健福祉事務所

年 月 日	職 名 (配 属)	氏 名	新 所 属
17. 4. 1	主席研究員 (保健科学部門)	山下みよ子	中讃保健福祉事務所
17. 4. 1	主席研究員 (保健科学部門)	野田 陽子	中央病院
17. 4. 1	主席研究員 (環境科学部門)	毛利 孝明	県営水道事務所
17. 4. 1	主査 (総務企画課)	中村 優子	農村整備課
17. 4. 1	主任研究員 (環境科学部門)	田村 章	産業技術センター
17. 3. 31	嘱託 (総務企画課)	福岡 和男	退 職
17. 3. 31	嘱託 (環境科学部門)	石原 暁	退 職
17. 3. 31	嘱託 (環境科学部門)	張 志保子	退 職
17. 4. 1	嘱託 (総務企画課)	川西 秀則	高松土木事務所

## 3. 配置換

年 月 日	職 名 (配 属)	氏 名	旧 職 名 (配 属)
17. 4. 1	次 長	津村 秀信	研究主幹 (保健科学部門)

## 4. 昇 任

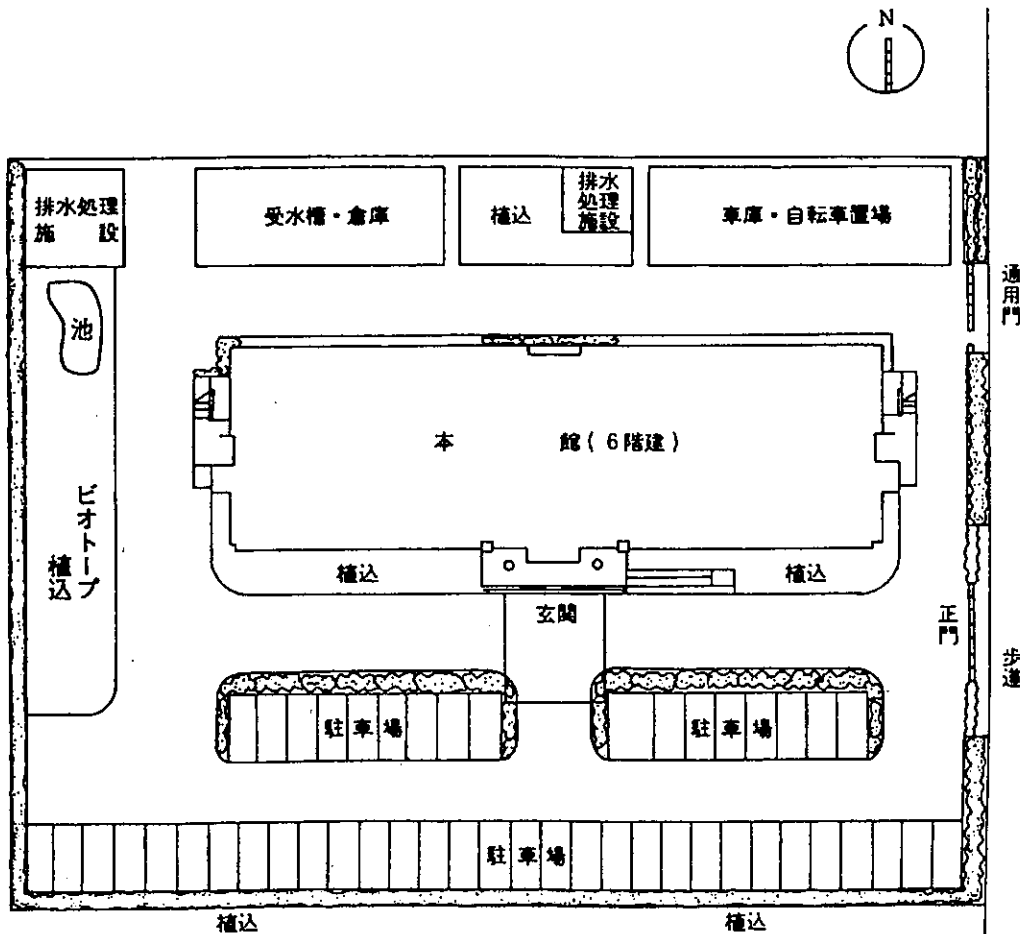
年 月 日	職 名 (配 属)	氏 名	旧 職 名 (配 属)
17. 6. 1	主席研究員 (環境科学部門)	大西ひとみ	主任研究員 (環境科学部門)
17. 6. 1	主席研究員 (総務企画課)	六車満由美	主任研究員 (総務企画課)
17. 6. 1	主席研究員 (環境科学部門)	鈴木佳代子	主任研究員 (環境科学部門)
17. 6. 1	主任研究員 (保健科学部門)	多田 芽生	主任技師 (保健科学部門)

## V 庁舎及び施設概要

### 1 建物

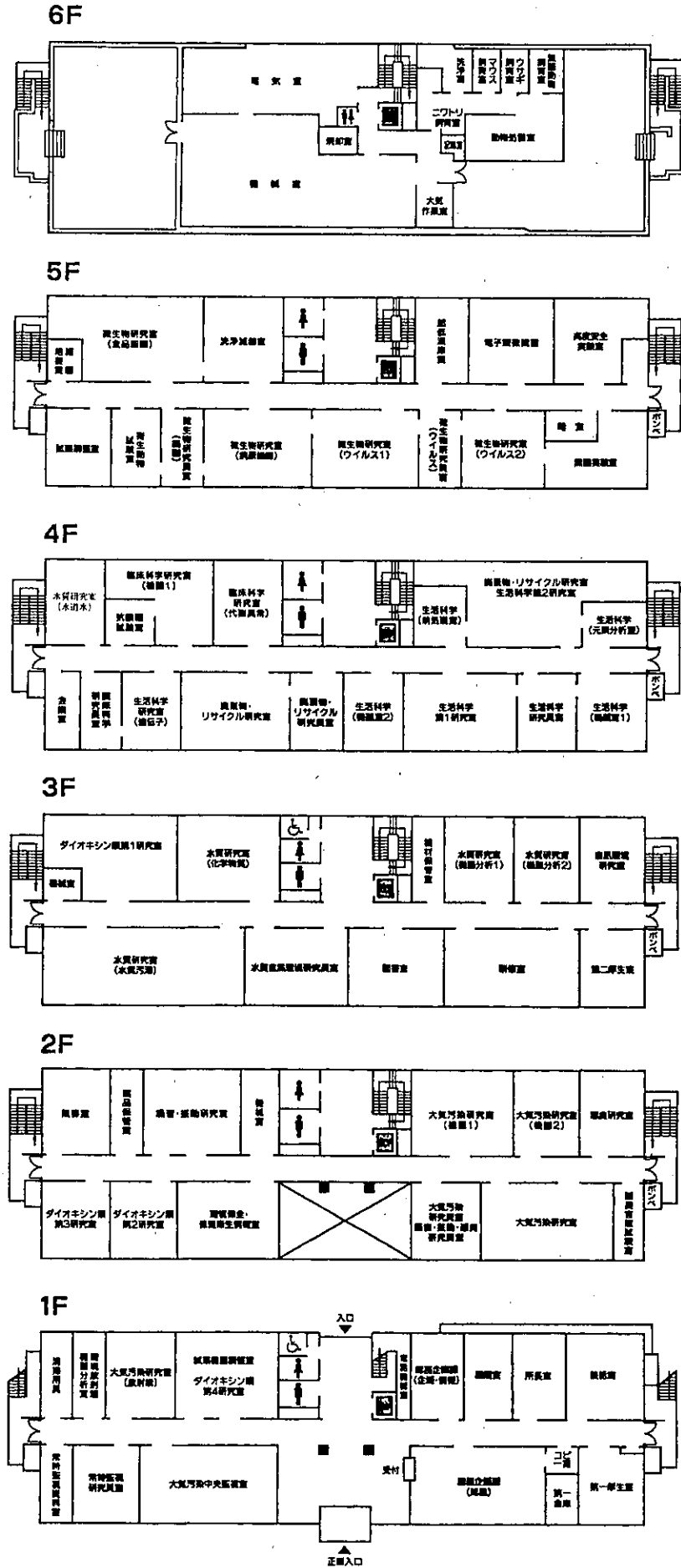
ア 敷地面積	4,999.89 m <sup>2</sup>
イ 建築面積	5,504.51 m <sup>2</sup> (延面積)
ウ 建物概要	
・本館(6階建)	5,083.60 m <sup>2</sup>
・付属棟	420.91 m <sup>2</sup>
(ポンプ室・倉庫)	124.00 m <sup>2</sup>
(排水処理施設)	96.91 m <sup>2</sup>
(倉庫・車庫)	200.00 m <sup>2</sup>

### 2 建物配置図



県道高松東港線

3 庁舎配置図



## VI 経 理 状 況

## (1) 平成16年度 歳 入

(単位:円)

科 目	調 定 額	収入済額	不能欠損額	収入未済額
使用料及び手数料	26,393,132	26,393,132	0	0
使用料	12,732	12,732	0	0
衛生使用料	12,732	12,732	0	0
環境保健研究所費	12,732	12,732	0	0
手数料	26,380,400	26,380,400	0	0
衛生手数料	26,380,400	26,380,400	0	0
予防費	1,480,000	1,480,000	0	0
環境衛生指導費	2,231,610	2,231,610	0	0
薬務費	169,090	169,090	0	0
環境保健研究所費	22,499,700	22,499,700	0	0
諸 収 入	261,338	261,338	0	0
雑 入	261,338	261,338	0	0
雑 入	261,338	261,338	0	0
保険料立替金	225,469	225,469	0	0
環境保健研究所費	35,869	35,869	0	0
計	26,654,470	26,654,470	0	0

## (2) 平成16年度 歳 出

(単位:円)

款 項	目	節	支出済額
総 務 費			1,404,300
総務管理費	諸 費		1,000,000
企画費	企 画 総 務 費	需用費	1,000,000
衛生費			404,300
公衆衛生費	結 核 対 策 費	需用費	404,300
	予 防 費	旅需用費	241,123,939
	母 子 保 健 費	役 務 費	26,942,938
		共 済 費	200,000
		賃 金 費	200,000
		旅 用 費	3,970,000
		役 務 費	130,000
		委 託 料	3,690,000
		使用料及び賃借料	150,000
		負担金補助及び交付金	22,772,938
			270,000
			1,972,010
			228,948
			17,000,000
			120,000
			604,000
			2,548,980
			29,000

(単位:円)

款	項	目	節	支出	済額
	環境衛生費				213,741,001
		環境衛生総務費			664,650
			需用費		664,650
		食品衛生指導費			15,338,758
			共済費		550,638
			賃金		3,944,020
			旅費		430,000
			需用費		6,875,000
			役務		30,000
			委託		3,509,100
		環境衛生指導費			42,675,436
			共済費		270,000
			賃金		3,454,150
			旅費		428,173
			需用費		32,102,619
			役務		254,264
			委託		238,350
			備品購入		5,927,880
		自然保護費			547,490
			旅費		145,000
			需用費		25,000
			役務		47,250
			委託		270,600
			備品購入		59,640
		鳥獣保護費			2,240,960
			共済費		258,000
			賃金		1,860,290
			旅費		62,670
			需用費		60,000
		環境保全費			54,247,074
			共済費		270,000
			賃金		4,112,000
			報償		35,000
			旅費		1,762,448
			需用費		37,068,917
			役務		703,424
			委託		2,971,500
			使用料及び賃借料		107,000
			備品購入		7,210,285
			負担金補助及び交付金		6,500
		環境保健研究所費			98,026,633
			報償		8,832,000
			共済		3,198,542
			賃金		12,137,922
			報償		846,000
			旅費		1,438,320

(単位:円)

款 項	目	節	支出 済 額
医 薬 費	薬 務 費	需 用 費	37,770,000
		役 務 費	1,169,000
		委 託 料	32,279,439
		使用料及び賃借料	170,910
		負担金補助及び交付金	184,500
			440,000
			440,000
		旅 需 役	50,000
	用 費	340,000	
	務 費	50,000	
農 林 水 産 業 費			2,962,958
農 業 費	農 業 試 験 場 費		509,000
			509,000
畜 産 業 費	家 畜 保 健 衛 生 費	旅 需 用 費	59,000
			450,000
			1,190,000
			680,000
林 業 費	畜 産 試 験 場 費	需 用 費	680,000
			510,000
			510,000
			727,740
水 産 業 費	林 業 振 興 事 業 費		727,740
		賃 需 用 金 費	639,250
			88,490
			536,218
			433,218
			32,000
土 木 費	水 産 業 振 興 費	賃 旅 需 用 金 費	8,218
			393,000
			103,000
		賃 需 用 金 費	36,000
港 湾 費	港 湾 補 修 費		67,000
		需 用 費	22,656
			22,656
計	港 湾 建 設 費		1,195,344
		需 用 費	1,195,344
計			246,709,197

(2) 平成16年度 歳 出 (明許繰越)

(単位:円)

款 項	目	節	支出 済 額
土 木 費			142,000
港 湾 費	港 湾 建 設 費		142,000
		需 用 費	142,000
計			142,000

## Ⅶ 業 務 概 要

### 1 環境科学部門 水質担当

(1) 水質汚濁関係の調査

① 環境水質・底質等の分析

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
広域総合水質調査 水質監視測定調査	委託 補助	県内一円(海域)	海水	10	5, 7, 10, 1	80	920
		県内一円(海域)	海水	42	4~3	1056	1056
		県内一円(河川)	河川水	63	4~3	743	743
地下水汚染追跡等調査	県単	県内一円	地下水	40	2	40	152
		県内一円	地下水	131	4~3	131	946
地下水補完調査	県単	県内一円	地下水・排水	17	5, 8, 11, 2	55	321
瀬戸内海環境情報基本調査	委託	県内一円(海域)	底質	0	4~3	0	解析調査のみ
酸性雨陸水モニタリング調査	委託	綾上町	池の水	1	6, 7, 10, 2	16	864
水生生物を活用した水質浄化 実証事業に係る水質調査等	県単	大野原町	浄化実証水質	7	5~3	84	1092
			流域水質	7	5~3	28	364
			その他	8	4~5	23	161
ゴルフ場使用農薬流出実態調査	県単	県内一円	池水	22	6	22	924
化学物質環境汚染実態調査	委託	高松港	海水・底質	3	10	6	15
1)初期環境調査			海水	3	10	3	採水のみ
2)暴露量調査			生物・底質	4	10	7	採取のみ
3)モニタリング調査			模擬試料	—	10	5	20
4)精度管理	—	—	—	—	—	—	—
豊島事業場における周辺環境調査	県単	豊島	間隙水	3	6, 7, 10, 2	12	246
			底質	3	7, 11	6	30
			海水	4	10, 12	8	88
直島における周辺環境調査	県単	直島町	土壌	2	2	2	2
ダイオキシン類環境監視調査	補助	県内一円	河川水	25	11~1	25	25
			地下水	21	6~12	21	21
			海水	10	6	10	10
			底質	12	8	12	12
			土壌	48	6~12	48	48
			排水	3	6, 9	3	3
港湾工事に伴う環境調査	県単	県内一円	底質	4	2	4	4
			底質溶出	4	2	4	4
			—	—	—	—	—
環境測定分析統一精度管理調査	—	—	底質試料	—	10	1	1
	—	—	土壌試料	—	10	1	1
綾川における水道水源水質実態調査等	県単	綾歌町、綾南町	河川水等	176	1~3	176	176
土壌汚染防止法関連調査	県単	坂出市・豊中町	地下水	20	5, 11, 3	20	149



## ② 工場・事業場監視調査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
特定事業場排水調査	県単	坂出市・直島町	排水	82	6, 9, 11, 2	276	935
総量規制基準監視調査	県単	県内一円	排水	4	1~3	96	288
小規模事業場水質浄化事業	委託	琴平町・坂出市	排水・汚泥	2	9	14	110
1)環境技術実証モデル事業	県単	県内一円	排水	132	9~3	132	914
2)うどん店排水処理技術開発支援事業							

## ③ 苦情に係る調査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
苦情処理等	県単	香南町	池水・底質	27	6~3	27	376
		琴平町	香川用水	1	5	1	3
		丸亀市	地下水等	10	6~12	10	44
		香南町	池の水	2	6	2	4
		坂出市	河川水・池水	4	9, 11	4	79

## ④ 市町等からの依頼検査

調査の種類	市町名	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
市町依頼検査	高松市	河川水	10	5, 10	10	40
		底質	1	7	2	2
	坂出市	底質	6	5	6	60
	香川町	河川水・池の水	13	4~3	52	164
		排水	1	10	1	10
	直島町	海水	1	5, 11	2	38
	土庄町	底質	2	6	4	4

## (2) 水道・温泉関係の調査

調査の種類	事業別	調査地域	検体区分	地点数	調査実施月	検体数	項目数
水道水浄水全項目検査	—	県内一円	水道水	39	6~3	39	1940
水道水原水全項目検査	—	県内一円	ダム水・河川水	1	2	1	40
水道水浄水項目別検査	—	県内一円	水道水	36	4~3	36	49
飲料水化学検査	—	県内一円	水道水・井戸水	1869	4~3	1869	5607
飲料水細菌検査	—	県内一円	水道水・井戸水	5	4~3	40	80
鉱泉小分析	—	県内一円	温泉水	11	4~3	11	85
鉱泉分析	—	県内一円	温泉水	9	4~3	9	297
ラドン測定	—	県内一円	温泉水	11	4~3	11	11
松くい虫防除に伴う残留農薬検査	—	県内一円	池の水・畦田水等	16	6, 7	78	78

## 2 環境科学部門 大気汚染・騒音・振動・悪臭担当

## ① 大気汚染関係の調査

## a ダイオキシシン類対策調査

調査名	地点数	調査月	件数
環境大気汚染状況の常時監視	6	5, 8, 11, 2	24
排出基準の遵守状況の監視	28	4~3	28

## b 有害大気汚染物質モニタリング調査

調査項目	地点数	調査月	件数
テトラクロロエチレン トリクロロエチレン ベンゼン ジクロロメタン	4	4~3	192
アクリロニトリル 塩化ビニールモノマー ニッケル化合物 水銀及びその化合物	4	4~3	192
アセトアルデヒド クロロホルム 1,2ジクロロエタン ヒ素及びその化合物 1,3ブタジエン ベリリウム及びその化合物 ホルムアルデヒド マンガン及びその化合物 クロム及びその化合物 ベンゾ(a)ピレン	4	4~3	480
酸化エチレン	4	4, 6, 8, 10, 12, 2	24

## c アスベスト調査

調査名	地点数	調査月	件数
大気環境測定	3	7, 10, 1	27

## d 酸性雨実態調査

調査名	採取方法	地点数	試料数	分析項目
酸性雨実態調査	全降雨調査	1	73	11項目 : 量、pH, EC, SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> , NO <sub>3</sub> <sup>-</sup> , Cl <sup>-</sup> , NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> , Ca <sup>2+</sup> , Mg <sup>2+</sup> , K <sup>+</sup> , Na <sup>+</sup>
	降下物調査	2	84	

## e フロン環境調査

調査地域	調査月	件数	分析項目
高松市	4, 7, 10, 1 (各3日)	12	フロン11, フロン12, フロン13
満濃町		12	

## f ばい煙発生施設等立入調査

項目	ばいじん量	硫黄酸化物	窒素酸化物	塩化水素	カドミウム	銅	鉛	重油中イオウ分
試料数	19	13	9	6	2	2	2	36

## g 豊島廃棄物等処理事業に伴う調査

調査名	地点数	調査月	件数	分析項目
中間処理施設自主検査 (煙道排ガス)	3	4~3	259	煙道排ガス中の、ばい じん、ダイオキシン類等 11項目
直島敷地境界等環境測定	1	5, 8, 10, 2	44	環境中の、ベンゼン、 ダイオキシン類等 11項目
豊島敷地境界環境測定	1	4, 7, 11, 1	44	環境中の、ベンゼン、 ダイオキシン類等 11項目
豊島作業環境測定	3	4, 7, 10	45	ベンゼン等 15項目
番の州地区降下ばいじん調査	3	2~3	18	溶解性、不溶解性等 6項目

## h 平成16年度酸性雨測定分析精度管理調査

調査月	項目数	件数
2	10	2

## i 苦情処理に伴う調査

項目名	地点数	項目	調査月	件数
アルデヒド等	2	7	11, 12	14
ヒ素	2	1	11	2
アスベスト	2	1	11	2

## J 土壌ガス調査

項目名	調査地点	調査月	件数
ベンゼン	9	8	9
	8	12	8

## ② 悪臭関係の調査

## 豊島廃棄物等処理事業に伴う調査

調査名	地点数	調査月	項目数	分析項目
直島敷地境界等環境測定	1	5, 8, 10, 2	88	22項目
豊島敷地境界環境測定	1	7, 11	44	22項目

③ 騒音関係の調査

a 航空機騒音調査

調査地点数	調査月	調査日数	測定航空機数		件数
			1日平均	総数	
3	5, 11	7	20	280	42

b 瀬戸大橋騒音調査

調査地点	調査月	調査日数	列車本数	件数
4	12	2	154	616

c 豊島廃棄物等処理事業に伴う調査

調査名	調査地点	調査回数	項目数	件数
直島環境計測	敷地境界	4	4	384
豊島環境計測	敷地境界	2	4	192

d 苦情処理に伴う低周波音調査

調査地点	回数	項目	件数
1	1	G特性音圧レベル	1

④ 振動関係の調査

豊島廃棄物等処理事業に伴う調査

調査名	調査地点	調査回数	項目数	件数
直島環境計測	敷地境界	4	3	288
豊島環境計測	敷地境界	2	3	144

⑤ 調査研究事業

a 環境大気中の有害化学物質に関する研究(平成14~16年度)

大気汚染防止法で有害性が特に懸念されるアセトアルデヒド等22の「優先取り組み物質」について、詳細に調査するとともに、アルデヒド類は常時監視項目との関係を検討し、ヒ素はダストジャーを用いる降下ばいじん及び土壌について調査を行った。

項目名	地域	地点数	調査月	件数
アルデヒド類	中讃地域	1 (2項目)	11	24
ヒ素	直島	降下ばいじん 5	6~3	50
		土壌 4	12	4
ヒ素	中讃地域	降下ばいじん 2	5~3	22
		土壌 3	12	3

- b 畜産系コンポスト化処理時の臭気低減化に関する研究  
畜糞のコンポスト化時の臭気低減化を図るため畜産試験場と共同で脱臭の研究及び装置の開発を行う。

検体数	項目数
204	789

⑥ 環境省委託調査、市町等依頼検査

a 化学物質環境汚染実態調査(大気系)

調査地点	調査月	項目数	件数
県高松合同庁舎	9, 11, 12	5	14

b 一般環境大気汚染調査

項目名	地点数	調査月	件数
硫黄酸化物	3	4~3	36
降下ばいじん	15	10	4~3
		5	5, 10
浮遊粒子状物質	2	4~3	24
二酸化窒素(トリエタノールアミンろ紙法)	14	10	4~3
		4	5, 10

c 有害大気汚染物質の検査

項目	地点数	調査月	件数
ベンゼン	4	4~3	48
1, 3ブタジエン	2	4~3	24
トリクロロエチレン等7項目	1	4~3	84
アルデヒド類2項目	2	4~3	48
カドミウム等5項目	1	4~3	60
水銀及びその化合物	1	4~3	12
ベンゾ(a)ピレン	2	4~3	24
酸化エチレン	1	4~3	12

d 室内空気中の臭気検査

項目	検体数
臭気濃度	3

e 悪臭測定

検体数	項目数
87	203

f 重油中の硫黄分検査

項目	件数
硫黄分	7

g 具有施設の煙道排ガス検査

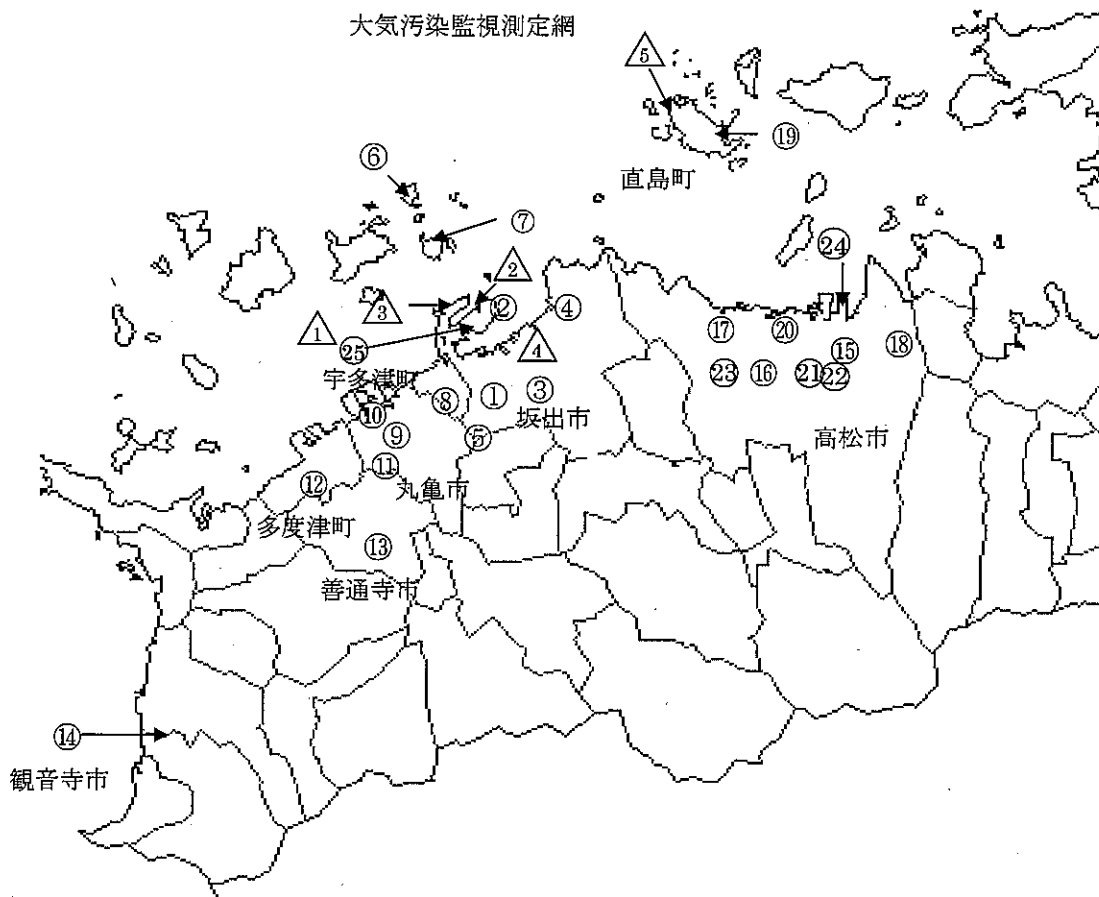
項目	件数
ダイオキシン類	6

3 環境科学部門 常時監視担当

① 大気汚染監視事業

a テレメータシステムによる大気汚染常時監視

大気汚染監視測定網



○ 環境観測局  
△ 煙源観測局

環境観測局		煙源観測局	
1 坂出市役所	13 善通寺市役所	1 四国電力坂出發電所	
2 瀬居島	14 観音寺市役所	2 三菱化学坂出事業所	
3 林田出張所	15 高松競輪場	3 コスモ石油坂出製油所	
4 相模坊神社	16 高松南消防署	4 讃岐塩業	
5 川津	17 勝賀中学校	5 三菱マテリアル直島製錬所	
6 櫃石島	18 高松東消防署		
7 岩黒島	19 直島町役場		
8 宇多津町役場	20 高松市役所		
9 丸亀市役所	21 栗林公園前		
10 丸亀競艇場	22 花園		
11 城坤小学校	23 鶴尾公民館		
12 多度津町役場			

環境観測局測定項目

観測局		測定項目			設置										
					二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物	オキシダント	一酸化炭素	炭化水素	風向・風速	気温	湿度	日射量	
一般環境 大気測定局	坂出市	1	坂出市役所	県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	瀬田出張所	坂出市	●	●	●								
		3	林田坊	坂出市	●	●	●	●							
		4	相模	坂出市	●	●	●								
		5	川樞	坂出市	●	○	○	○	○						
		6	岩石	坂出市	●	●	○								
		7	津島	坂出市	●	●	○								
	宇多津町	8	宇多津町役場	県	○	○	○	○	○	○	○	○			
		丸亀市	9	丸亀市役所	県	○	○	○	○	○	○	○			
			10	丸亀競艇場	丸亀市	●	●	●							
			11	城小	丸亀市	●	●	●	●						
		12	多度津町役場	県	○	○	○	○	○	○	○				
		13	善通寺市役所	県	○	○	○	○	○	○	○				
		14	観音寺市役所	県	○	○	○	○	○	○	○				
高松市	15	高松競輪場	高松市	●	●	●	●								
	16	高松南消防署	高松市	●	●	●									
	17	勝賀中学校	高松市	●	●	●	●								
	18	高松東消防署	高松市	●	●	●	●								
直島町	19	直島町役場	町	●	●	●	●								
自動車 排出ガス 測定局	高松市	20	高松市役所前	高松市	●	●	●	●	●	●					
		21	栗林公園	高松市		●	●		●						
		22	花園	高松市		●	●		●						
		23	鶴尾公民館	高松市		●	●		●						
その他	高松市	24	環境保健研究センター	県							○	○	○	○	
	坂出市	25	四国電力坂出發電所	四国電力							●	●			

○ 県設置  
● 市・町・企業設置

煙源観測局測定項目

観測局		測定項目									
		硫黄酸化物濃度	窒素酸化物濃度	ガス使用量	重油使用量	石炭使用量	ガス中硫黄分	排出ガス流量・流速	空気流量	残存酸素濃度	発電量
1	四国電力	○	○	○							○
2	三菱石岐	○	○								○
3	コスモ	○	○								○
4	讃岐	○	○		○	○					○
5	三菱マテリアル	○	○								○

大気汚染自動測定機稼働状況

測定項目	二酸化硫黄		浮遊粒子状物質		一酸化窒素		二酸化窒素		オキシダント		一酸化炭素		非メタン炭化水素		メタン	
	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率	局数	稼働率
稼働率	19	99.5	21	98.6	21	98.8	21	98.8	13	93.0	10	99.3	5	96.0	5	96.0

備考：稼働率が100%に達しない理由は、自動測定機の定期点検等による。  
市・町設置分を含む

緊急時 発令状況 (オキシダント)

状況	地域		中讃地域	高松地域	直島地域
	発令日数	予報 注意報			
発令回数内訳	0	5	0	0	0
	0	0	0	0	0

b 大気移動測定車による大気汚染調査

調査地点	調査日数	調査項目
5地点	85日	二酸化硫黄他 6項目

c 豊島における環境調査

区分	調査地点	調査日数	調査項目
土庄町豊島	1地点	81日	二酸化硫黄他 8項目

d 直島における環境調査

区分	調査地点	調査日数	調査項目
三菱グラウンド	1地点	89日	二酸化硫黄他 6項目

② 環境放射能監視事業  
環境放射能水準調査 (文部科学省委託事業)

調査項目	検体種類数	調査月	検体数
全ベータ放射能測定	1	4~3	82
Ge検出器による人工γ線放出核種の機器分析	12	4~3	26
サーベイメーターによる空間放射線量率測定	1	4~3	12
モニタリングポストによる空間放射線量率測定	1	4~3	365
放射能分析確認事業	6	5,6,7,8	10



#### 4 環境科学部門 自然環境担当

##### (1) ニッポンバラタナゴの2亜種の遺伝子の比較に関する研究

絶滅危惧ⅠA類(環境省)に指定される希少淡水魚ニッポンバラタナゴについて、遺伝子の比較に関し香川大学と共同研究を実施している。

平成16年度には、これまでに開発したマイクロサテライトマーカーを使い、ニッポンバラタナゴの同定を行った。

事業名	件数	検体数
バラタナゴの種の同定	1	2

##### (2) カジカ(大卵型)保護対策

カジカ(大卵型)は四国では香川県のみに生息し、絶滅危惧Ⅰ類(香川県)に指定されている。本種の保護・増殖を図るため、淡水魚の専門家、県の担当者とともに現地視察を実施、保護対策の検討をしている。

##### (3) 水生生物等調査

これまで県の実施する河川における環境整備事業に協力しホタルの放流を行っており、16年度も放流の準備をしていたが、台風23号によって予定地が被災したため放流が困難となり新たに放流先を選定した。

##### (3) 魚毒性試験

河川、ため池等での魚類のへい死事故にかかる魚毒性試験(急性毒性試験)を実施した。

事業名	件数	検体数
魚毒性試験	3	4

##### (4) 希少水生植物保護の取組み

絶滅危惧Ⅱ類(VU)(環境省)に分類されている希少水生植物アサザが香川県で唯一残っている久米池について、水質担当と共同で調査を実施している。

##### (5) 傷病鳥獣保護事業

(財)栗林公園動物園の閉鎖に伴い、平成15年8月より傷病鳥獣の受付業務を開始した。

保護個体のほとんどは鳥類で特にハト類が多いが、準絶滅危惧種(環境省・香川県)に指定されるミサゴなど希少種も含まれている。哺乳類はアブラコウモリ1個体、ムササビ1個体のみであった。

事業名	件数	種数	個体数
傷病鳥獣保護事業	141	31	162

## 5 廃棄物・リサイクル部門

県単独事業、並びに高松市等からの依頼検査を実施した。

調査の種類	事業別	調査地域	調査月	検体区分	調査地点数	項目数
産業廃棄物処分場 浸出水等調査	県単	県下一円	4~3	浸出水、地下水等	57	1672
	依頼	高松市	2, 3	浸出水、地下水等	7	215
豊島事業場における 環境等調査	県単	豊島	4~3	浸出水、沈砂池水	12	613
				地下水	3	60
				特殊前処理物 洗浄水	13	260
				ドラム缶内容物 (汚泥等)	106	106
				土壌	30	30
				廃棄物溶出試験	2	4
				地下水位等 予測調査	2	43
				作業環境大気	6	225
豊島スラグによる 屋外溶出試験調査	県単	高松市	4~3	溶出水	2	380
直島中間処理施設 関連調査	県単	直島町	4~3	ばいじん(飛灰)	2	11
				溶融スラグ	1	1
				排水	1	20
				作業環境大気	3	18
ばい煙発生施設 立入調査	県単	県下一円	4~3	ばいじん、焼却灰	25	49
廃棄物焼却炉自主 検査	県単	県下一円	4	ばいじん、焼却灰	6	8
みどりの条例施行 指導事業	県単	三木町 満濃町	3	浸透水(地下水)	2	52
放置ドラム缶等内 容物調査	県単	綾歌町	4	タール、スラッジ	2	38
食品廃水処理技術 開発に関する研究	県単	県下一円	4~3	排水	73	570

ダイオキシン類調査

本年度に分析にしたダイオキシン類の内訳件数を再掲したものである。

調査名	事業別	調査地域	検体区分		調査地点数	検体数	担当	
ダイオキシン類監視調査	補助	県下一円	環境監視	大気	環境大気	6	24	大気
				水質	河川水	25	25	水質
					海水	10	10	水質
					地下水	21	21	水質
				土壌	一般環境土壌	36	36	水質
					発生源土壌	12	12	水質
	底質	河川底質	5	5	水質			
		海域底質	7	7	水質			
		発生 源 監視	県下一円	大気	排出ガス	28	28	大気
					ばいじん	24	24	廃棄物
焼却灰	25				25	廃棄物		
水質	排出水				3	3	水質	
	浸出水	19	19	廃棄物				
直島町における 環境等調査	県単	直島	大気	環境大気	1	4	大気	
土壌				一般環境土壌	2	2	水質	
直島中間処理施設 管理等調査			大気	ばいじん(飛灰)	2	11	廃棄物	
				スラグ	1	1	廃棄物	
豊島事業場における 環境等調査	県単	豊島	大気	作業環境大気	3	12	廃棄物	
				水質	浸出水	1	1	廃棄物
			水質	環境大気	1	4	大気	
				作業環境大気	3	36	廃棄物	
				海水	4	8	水質	
				間隙水	3	6	水質	
				地下水	0	0	廃棄物	
				浸出水	8	68	廃棄物	
			溶出水	2	4	廃棄物		
			洗浄水	13	13	廃棄物		
底質	底質	3	6	水質				
土壌	土壌	30	30	廃棄物				
港湾工事に伴う 環境調査	県単	県下一円	底質	底質	4	4	水質	
底質溶出	4	4		水質				
高松市海域調査	依頼	高松市	底質	底質	1	1	水質	
				底質溶出	1	1	水質	
土庄町海域調査	依頼	土庄町	底質	底質	2	2	水質	
				底質溶出	2	2	水質	
廃棄物焼却炉自主検査	県単	県下一円	大気	排出ガス	7	15	大気	
				ばいじん	1	1	廃棄物	
				焼却灰	6	7	廃棄物	
環境測定分析統一 精度管理調査	-	-	土壌	土壌	-	1	水質	
合計						483		

## 6 保健科学部門 生活科学担当

- 生活衛生課, 薬務感染症対策課, 水産課からの行政検査, それらに関連する調査研究並びに高松市及び一般からの依頼検査を実施した。
- 平成15年度に引き続き, 無承認無許可医薬品調査として健康食品等の医薬品成分検査を実施した。
- 平成14年度から大幅に増加した輸入野菜の残留農薬検査を引き続き実施した。
- 平成13年から表示が義務付けされた遺伝子組換え食品の検査を実施した。
- 検査の概要は, 次のとおりである。

## (1) 食品衛生検査事業

事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
輸入食品の衛生対策事業・残留農薬	48	4504	有機リン, 有機塩素等, 8系統農薬93成分
〃 ・防黴剤	10	24	オルトフェニルフェノール, ジフェニール, チアベンダゾール等
〃 ・食品添加物	25	105	保存料, 甘味料, 着色料, 酸化防止剤等12成分
食品添加物規格試験	10	96	県内製造食品添加物について, 食品添加物公定書に基づく規格試験(安息香酸, 安息香酸ナトリウム, 塩化カルシウム, 塩化マグネシウム, 酸化マグネシウム, 炭酸マグネシウム, パーム油カロテン, ポリアクリル酸ナトリウム等)
県内産農作物中の残留農薬検査事業	26	2418	有機リン, 有機塩素等, 8系統農薬93成分
食品(魚, 肉, 卵, 牛乳等)中に残留するPCB等の検査事業	51	272	PCB, 水銀, 有機塩素系農薬等14成分
畜水産食品中の残留有害物質モニタリング調査	8	120	卵, 魚について合成抗菌剤9成分(サルファ剤9種, オキシリン酸, ナリジクス酸, ピロミド酸, クロピドール, チアンフェニコール, トリメトプリム)
魚介類中の水銀, PCB検査	20	40	水産課計画
遺伝子組換え食品衛生対策事業	18	18	大豆加工食品について定量試験 トウモロコシ加工食品について定性試験
食品検査内部精度管理	88	2048	検査実施項目(農薬, 添加物等)
食品検査外部精度管理(農薬・着色料)	1	2	農薬(クロルピリホス, マラチオン)
	2	6	着色料定性
計	307	9653	

## (2) 家庭用品衛生検査事業

事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
繊維製品の防炎加工剤・家庭用洗剤の溶剤検査	16	16	ビスホスフェイト, トリスホスフェイト, テトラクロロエチレン, トリクロロエチレン
繊維製品・毛糸中の防虫剤検査	8	16	ディルドリン, DTTB
計	24	32	

## (3) 医薬品・毒物劇物等検査事業

事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
医薬品一斉取締りに伴う検査	3	17	県内製造医薬部外品について医薬部外品製造承認書の規格に基づく製品検査等
健康食品買上げ検査 (医薬品成分の検査)	15	175	健康食品等について、N-ニトロソフェンフルラミン、フェンフルラミン、トリヨードチロニン、チロキシソ、シブトラミン、センノシド、利尿剤、マジンドール等17成分
無承認無許可医薬品検査	7	21	県内健康食品原料製造者の違反調査、無承認無許可医薬品買上げ調査 センナ(センノシド、葉軸・センナ葉の鑑定検査)、エフェドリン、プソイドエフェドリン、メチルエフェドリン、ブラックシュガー
電気メッキ事業場排水検査	6	6	遊離シアン(保健所での違反に伴う再検査含む)
計	31	219	

## (4) 生活科学依頼検査

事業名・検査項目	検体数	項目数	備考
輸入食品の衛生対策事業・残留農薬	9	837	高松市依頼:有機リン, 有機塩素等, 8系統農薬
〃 ・防黴剤	6	16	93成分 高松市依頼:オルトフェニルフェノール, ジフェニール, チアベンダゾール
県内産農作物中の残留農薬検査	1	93	高松市依頼:有機リン, 有機塩素等, 8系統農薬93成分
食品(魚, 肉, 卵, 牛乳等)中の水銀, PCB等調査	15	15	高松市依頼:PCB, 水銀, 有機塩素系農薬等14成分
遺伝子組換え食品	2	2	高松市依頼:大豆製品定量試験
繊維製品(乳児用)	2	2	高松市依頼:ホルムアルデヒド
計	35	965	

## (5) 生活科学調査研究

調査研究名	備考
食品中の汚染物質等のモニタリングと解析 日常食品中の汚染物質摂取量調査 食品添加物一日摂取量調査(防黴剤について)	共同研究(国立医薬品食品衛生研究所) 〃

7 保健科学部門 微生物担当

(1) 細菌関係 食品細菌

① 食品衛生に係る事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
腸炎ビブリオ食中毒防止対策事業	40	80	カレイ、コノシロ等のビブリオ汚染調査 (腸炎ビブリオ NAGビブリオ)
カンピロバクター等汚染状況実態調査事業	36	108	食鳥肉等の汚染調査(細菌数 カンピロバクター サルモネラ属菌)
輸入食品の食品衛生対策事業	40	107	輸入チーズ、漬物原料、瓶詰め食品等 (細菌数 大腸菌群 ポツリヌス菌 リステリア菌 腸球菌 緑膿菌 残留抗生物質)
腸管出血性大腸菌O157汚染実態調査	72	72	給食、惣菜、生野菜等

② 乳肉衛生事業

調査事業名	検体数	項目数	備考
畜水産物中の残留抗生物質検査	18	18	鶏卵、養殖魚
ナシフグ毒性検査	20	20	香川・岡山両県の瀬戸内海域産ナシフグの 安全確認調査
サルモネラ同定	3	3	液卵

③ 食中毒・有症苦情調査

検査項目	検体数	項目数	備考
細菌性食中毒・有症苦情	631	13384	腸炎ビブリオ サルモネラ属菌 病原性大腸菌 等食中毒起因菌21種 細菌数 大腸菌群等
ウイルス性食中毒・有症苦情	218	653	Norovirus Adeno40/41 Rota A
フグ中毒	3	3	フグ毒
行啓にかかる検査	22	154	腸炎ビブリオ サルモネラ属菌 病原性大腸菌等
苦情食品	7	51	酵母 カビ 食中毒起因菌等

④ 調査研究等

事業名	検体数	項目数	備考
香川県試験研究機関共同研究事業 (県特産物の需要拡大に関する研究)	8	144	讃岐黒豚を利用した特徴ある非加熱食肉製品 の開発
食品由来感染症の細菌学的疫学指標の データベース化に関する研究	10	10	(厚生労働科学研究費補助金新興・再興感染症 研究事業)

⑤ その他

検査項目	検体数	項目数	備考
衛生害虫同定	9	9	

## (2) 細菌関係 病原細菌

## ① 香川県感染症発生動向調査事業

疾患名	検体数	項目数	備考
感染性胃腸炎	105	1995	サルモネラ属菌 カンピロバクター 病原大腸菌 ブドウ球菌 エルシニア等19菌種
細菌性髄膜炎	2	10	髄膜炎菌 ヘモフィルス属 大腸菌 ストレプトコッカス属 真菌
サルモネラ同定	9	9	血清型別

## ② 疫学調査事業

検査項目	検体数	項目数	備考
二類感染症検査	1	1	赤痢菌
三類感染症検査	169	169	腸管出血性大腸菌
遺伝子学的疫学調査	53	53	感染症及び食中毒分離菌のPFGE検査 (腸管出血性大腸菌)

## ③ その他の細菌検査

検査項目	検体数	項目数	備考
抗酸菌検査	10	20	結核菌及び非結核性抗酸菌

## ④ クリプトスポリジウム等実態調査

調査事業名	検体数	項目数	備考
水道水源水域におけるクリプトスポリジウム等 実態調査	10	20	クリプトスポリジウム ジアルジア

⑤ 依頼検査  
高松市

検査項目	検体数	項目数	備考
衛生害虫	1	1	
抗酸菌検査	2	4	

## 一般依頼検査

検査項目	検体数	項目数	備考
食品細菌検査	31	73	細菌数、大腸菌群、黄色ブドウ球菌等
無菌試験	60	60	血液製剤等(細菌、真菌)

(3) ウイルス関係

① 香川県感染症発生動向調査事業・香川県感染症流行予測調査

疾患名	調査数	項目数	対象ウイルス
呼吸器系疾患	1068	9612	インフルエンザウイルス等 9 項目
感染性胃腸炎	255	2550	ロタウイルス等 10 項目
無菌性髄膜炎	200	1400	コクサッキーウイルスB群, エコーウイルス等 7 項目
眼疾患	28	140	アデノウイルス等 5 項目
手足口病	14	70	コクサッキーウイルスA群等 5 項目
ヘルパンギーナ	8	32	コクサッキーウイルスA群等 4 項目
口内炎	10	40	ヘルペスウイルス等 4 項目
その他の疾患	350	3850	ムンプスウイルス等 11 項目
アデノウイルス3型感受性調査	110	110	ヒト年令群別抗体保有調査

② 国立感染症研究所との共同研究事業

調査事業名	調査数	項目数	備考
新型インフルエンザ感染源調査	160	480	抗動物型ウイルス 3 項目に対するブタ抗体保有調査
日本脳炎感染源調査	160	160	JaGAR01株に対するブタ抗体保有調査
麻疹感受性調査	177	177	ヒト年令群別抗体保有調査

③ 後天性免疫不全症候群予防対策事業

検査項目	検体数	項目数	備考
HIV抗体検査	121	242	HIV-1,HIV-2抗体検査
HIV確認検査	-	-	HIV-1,HIV-2確認検査

④ 貝毒発生監視調査に係る貝毒検査

検査項目	検体数	項目数	備考
麻痺性貝毒検査	40	40	マウス単位法

⑤ 厚生労働省新興再興感染症共同研究事業

事業名	検体数	項目数	備考
日本脳炎ウイルス抗原変異並びに地域差に関する調査研究	160	160	遺伝子解析

⑥ 健康危機管理に関する検査

検査項目	検体数	項目数	備考
高病原性鳥インフルエンザ検査	27	27	RT-PCR法等
ウエストナイルウイルス検査	10	10	RT-PCR法等
積極的疫学調査(ウイルス)	24	72	ウイルス性胃腸炎 3 項目
積極的疫学調査(細菌)	3	57	細菌性胃腸炎 19 項目



## ⑦ 依頼検査

## a インフルエンザ発生動向調査

検査項目	検体数	項目数	備考
インフルエンザ疾患	100	100	高松市依頼

## b HIV検査

検査項目	検体数	項目数	備考
HIV抗体検査	124	248	高松市依頼
HIV確認検査	-	-	高松市依頼

## c B型肝炎感染予防対策事業

検査項目	検体数	項目数	備考
HBs抗原検査	24	24	職員課依頼
HBs抗体検査	31	31	職員課依頼

## 8 保健科学部門 臨床科学担当

## (1)先天性代謝異常等検査実施状況

	月	平成16年										平成17年			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
検査実施件数	代謝異常症	782	810	844	830	842	792	782	786	826	783	720	863	9660	
	副腎過形成症	779	809	837	838	847	786	779	781	828	780	721	869	9654	
	クレチン症	790	815	841	837	842	789	787	786	831	783	724	870	9695	
再採血検査数	代謝異常症	6	4	8	2	5	10	6	7	5	6	5	8	72	
	副腎過形成症	3	3	1	10	10	4	3	2	7	3	6	14	66	
	クレチン症	14	9	5	9	5	7	11	7	10	6	9	15	107	
	再検査数 (検体不備)	30	24	27	31	31	25	17	20	33	25	21	16	300	
実施実人員数		746	778	807	796	805	757	758	758	787	752	693	839	9276	
要精検者数	代謝異常症	1		1		1	1			1		2	1	8	
	副腎過形成症				1							1		2	
	クレチン症	3			2		2	1	1	1	1	2	2	15	

## (2)先天性代謝異常検査等における行政・依頼状況(平成16年度)

事業名・検査項目	行政			依頼		
	検体数	項目数	要精検者数	検体数	項目数	治療経過件数
先天性代謝異常等検査	9660	57960	25	66	66	66(12)
フェニールケトン尿症			1			48(2)
メープルシロップ尿症			2			1(1)
ホモシスチン尿症			1			0(0)
ガラクトース血症			4			9(6)
クレチン症			15			2(2)
副腎過形成症			2			6(1)

(人数)

## VIII 試験研究のテーマ

(平成 16年度)

### 1 香川県環境保健研究センターの研究テーマ

(8 題)

#### (1) 環境ホルモンによるウニ卵に与える影響調査

環境ホルモン(内分泌攪乱化学物質)が生態系に与える影響を評価するため、ウニ卵を用いて研究を行った。

#### (2) 水生植物を活用した水質浄化実験

豊稔池の流入口サイトに設置されたヨシ、クローン等の植物を利用した水質浄化施設の浄化効果の実証実験を行うとともに、植物の浄化機能を高める基礎研究や他の地域でも利用できる浄化システムづくりの検討を行った。

#### (3) 希少水生植物保護の取り組み

香川県版レッドリストで絶滅危惧 I 類に分類される希少水生植物アサザが県内で唯一自生する久米池(高松市新田町)について、水質、底質等の環境調査を実施し、アサザの生育条件を解析した。

#### (4) 有害化学物質に関する研究(大気中のアルデヒド類への紫外線の影響について)

平成9年10月から大気環境中の有害大気汚染物質の項目としてホルムアルデヒド及びアセトアルデヒドを測定しているが、突発的に高濃度を示す現象が見られることから、詳細に調整するとともに、常時監視項目との関係を検討している。

#### (5) 直島・中讃地域におけるひ素高濃度現象の解析

大気環境中の有害大気汚染物質として測定している直島及び中讃地域のひ素濃度が 高い傾向を示しており、その原因について調査解析を行った。

#### (6) 食品排水処理技術開発に関する研究

排水処理施設における負荷の軽減を図るため、酵素等の微生物による排水中の油、澱粉等を分解処理する方法を、県産業技術センターと協力しながら調査、検討している。

#### (7) 公衆衛生のための調査研究

##### ①食品中の汚染物質等のモニタリングと解析

ヨウ素、臭素について香川県における日常食品中の摂取量を調査し、年次別推移、ADI との比較等の解析を行った。

②新生児マス・スクリーニング検査において、毎年増加傾向にある低出生体重児は、副腎過形成症の疑陽性になりやすい。そこで疑陽性による再採決を減少させる目的で出生体重別にカットオフ値が設定できるか否かの検討を行っている。

#### (8) 小規模事業場排水浄化調査

小規模事業場等の排水実態調査を実施し、排水特性を解析することにより排水処理技術開発の支援をし、県の施策である負荷量削減対策に反映させる。

また、小規模事業所の有機排水を対象に技術開発者が提案する排水処理施設を使用して実証実験を実施する。

## 2 香川県環境保健研究センターと国・大学との共同研究テーマ

(1題)

### (1) ニッポンバラタナゴの2亜種(ニッポンバラタナゴ、タイリクバラタナゴ)の遺伝子の比較に関する研究

香川県等のため池などに生息している日本固有種のニッポンバラタナゴとタイリクバラタナゴは、外見からの識別は困難であることから、遺伝子学的方法により両者の識別を行うことを目的として、DNA解析を実施した。

## 3 香川県環境保健研究センターと香川県所管の他の試験研究機関との共同研究テーマ

(2題)

### (1) 県産特産物を利用した新商品の開発

「讃岐黒豚を利用した特長ある非加熱食肉製品の開発」

讃岐黒豚を利用した加工品の開発研究の一端として、生ハムの菌叢の調査を行い、菌叢が生ハムの旨味に与える影響を検討するとともに、製品の安全性、衛生管理に関する資料を得た。

### (2) 畜産系コンポスト化処理時の臭気低減化に関する研究

畜産系コンポストにおける最適な脱臭方法の確立が必要となっている。

そこで、脱臭後の目標臭気濃度を敷地境界線における規制基準C区域とするために、コンポスト化施設を対象とした効率的かつ経済的な脱臭方法を検討している。

## 4 香川県環境保健研究センターと国・地方試験研究機関との共同研究テーマ

(12題)

### (1) 瀬戸内海環境情報基本調査

瀬戸内海的环境保全施策を実施するため、瀬戸内海沿岸11府県が昭和52年から約10年周期で調査及び解析を実施しており、今回は3周期目である。

### (2) 西日本及び日本海側を中心とした地域における光化学オキシダント濃度などの経年変動に関する研究

西日本および日本海側を中心とした地域におけるオキシダント濃度、粒子状物質濃度等の経年変動の状況を、各自治体が行っている大気常時監視データを用いて把握し、対象地域におけるデータの相互比較を行い、大陸からの影響についても検討した。

### (3) 第4次酸性雨全国調査

全国環境研協議会で実施している酸性雨の共同研究として、本県の測定データの提供及び解析を実施している。

### (4) 新型インフルエンザを想定した感染源調査

新型インフルエンザウイルスの進入を監視する一助として、豚における動物インフルエンザウイルスに対するHI抗体保有状況の調査及び、鴨・豚からのウイルス分離を実施した。

(5) 麻疹感受性調査

麻疹ワクチン接種効果を追跡するとともに、今後の流行の推定と予防接種計画の資料とするため麻疹に対する抗体保有状況の調査を実施した。

(6) 食品中の有害物質の評価に関する研究(日常食品中の汚染物摂取量調査)

日常食品中の汚染物質量を把握し、食品の安全性を確保することを目的とする。市販食品を購入、調理後、分析し、汚染物質の濃度、摂取量を求め、一日摂取許容量(ADI)及び全国標準レベルと比較する等解析した。金属、残留農薬、PCB等を対象として調査。

(7) 食品添加物安全性評価等の試験検査(食品添加物一日摂取量調査)

日常食品中の食品添加物量を把握し、食品の安全性を確保することを目的とする。市販加工食品を購入、分析し、食品添加物の濃度、摂取量を求め、一日摂取許容量(ADI)及び全国標準レベルと比較する等解析した。16年度は防カビ剤(DP、OPP、TBZ、IMZ)について調査。

(8) 再生品等の性状把握に関する調査研究

再生品等の循環利用を促進するため、溶融スラグや他の再生品の有効利用の場を想定し、その状況に対応する試験法を検討・適用して、性状把握や長期的な環境影響を同等の天然素材と比較検討した。

(9) 日本脳炎感染源調査

日本脳炎ウイルスの侵淫度を追跡し、流行を推定する資料とすため豚血清中の本ウイルスに対するHI抗体の測定を実施した。

(10) 食品由来感染症細菌学的疫学指標のデータベース化に関する研究

食中毒や感染症の集団発生及び散在的集団発生の原因の迅速な究明のために、国際的に使用できるプロトコールの作成と技術の精度管理、分離株のデータベースの作成を行う。

(11) 酸性雨陸水モニタリング調査

酸性雨による陸水影響調査を永富池(綾上町)において、実施し解析を行った。

(12) 化学物質環境汚染実態調査

化学物質審査規制法指定化学物質やP R T R制度の候補物質、非意図的生成物質、環境リスク評価及び社会的要因から必要とされる物質等の環境残留状況を把握するため、高松港における水質、底質、生物及び高松市内における大気中の汚染状況の実態調査を行った。

---

## IX 学会、論文等の報告

## (1)学会発表

(平成16年度)

開催日	演題	発表者	学会名	開催地
9.4	Adenovirus3型感染症の流行像に関する疫学解析	○津村 秀信, 三木 一男	第55回四国地区獣医師大会	松山市
9.15-16	与島における瀬戸大橋鉄道騒音について	○田村 章, 串田 光祥	全国環境研協議会騒音担当者会議	甲府市
11.4-5	畜産系コンポスト化処理時の臭気低減化に関する研究—残留臭気の高減化(二次処理)に関する研究	○串田 光祥	第31回環境保全・公害防止研究発表会	東京都
11.4-5	香川県のため池におけるアサザの生育環境について	○張 志保子, 多田 薫, 白井 康子, 石原 暁	第31回環境保全・公害防止研究発表会	東京都
11.17-19	生石灰の添加による豊島産業廃棄物等からの水素発生	○西原 幸一, 藤田 久雄, 岩崎 幹男, 藤田 淳二, 岡市 友利	第15回廃棄物学会研究発表会	高松市
11.17-19	豊島産業廃棄物の掘削・混合作業中の発火に係る原因究明	○藤田 久雄, 山本 務, 西原 幸一, 藤田 淳二, 岡市 友利, 高木 茂	第15回廃棄物学会研究発表会	高松市
1.28	ウニ卵を用いる水質の生物試験法に関する研究	○白井 康子	第28回瀬戸内海水質汚濁研究所公害研会議	松山市
2.10	ジャガイモが原因と推定された有症事例	○山下みよ子, 森 香織, 西岡 千鶴	第50回四国公衆衛生学会・研究発表会	松山市
2.10	香川県における遺伝子組み換え食品の検査について	○西岡 千鶴, 森 香織, 山下みよ子	第50回四国公衆衛生学会・研究発表会	松山市
2.10	保育園での集団発生事例におけるEHEC O157:H7の菌学的特性に関する検討	○多田千鶴子, 砂原千寿子, 多田 芽生, 井上 茂	第50回四国公衆衛生学会・研究発表会	松山市
2.10	香川県における低出生体重児の副腎過形成症カットオフ値の検討	○野田 陽子, 土取みゆき, 西内 尚子	第50回四国公衆衛生学会・研究発表会	松山市
2.16-17	ウニ卵発生法による豊島周辺海域環境モニタリング	○白井 康子	第20回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市

開催日	演題	発表者	学会名	開催地
3.17-19	水田からの汚濁負荷の流出特性	○笹田 康子, 石原 暁, 岡井 隆	第39回日本水環境学会年会	千葉市
3.17-19	植物を活用した水質浄化実験(第2報)	○石原 暁, 笹田 康子 岡井 隆	第39回日本水環境学会年会	千葉市
3.27-30	ニッポンバラタナゴのマイクロサテライトマーカーの開発	○白井 康子, 張 志保子, 津郷 雅之, 隅田 真由, 池田 滋, 田島 茂行	第52回日本生態学会大会	大阪市

○印は、発表者

(2) 他誌掲載論文

演題	著者	雑誌名
ウニ卵発生法による豊島周辺海域環境モニタリング	○白井 康子, 赤井 紀子, 藤田 淳二, 小林 直正	水環境学会誌 Vol.28, No.3,p203-206(2005)

## X 学会・会議等

## 1 全国協議会

(平成16年度)

## (1) 全国環境研協議会

学会名等	開催地	日程	参加者
平成16年度全国環境研協議会中国四国支部会議	松山市	7/22-23	所長 藤田淳二 主席研究員 日野康良 藤田久雄 笹田康子 西原幸一
平成16年度全国環境研協議会総会	東京都	1/24	所長 藤田淳二
平成16年度地方環境研究所所長会議	東京都	1/25	所長 藤田淳二

## (2) 地方衛生研究所全国協議会

学会名等	開催地	日程	参加者
平成16年度地方衛生研究所全国協議会 第1回理事会、総務委員会	さいたま市	5/13	所長 藤田淳二
第58回地方衛生研究所全国協議会中四国支部会議	高知市	5/20-21	所長 藤田淳二 総務企画課長 大西満 研究主幹 津村秀信 主席研究員 西岡千鶴 砂原千寿子
平成16年度全国地方衛生研究所所長会議及び 全国協議会臨時総会及び研究発表会	東京都	6/3-4	所長 藤田淳二 主席研究員 三木一男
衛生微生物技術協議会第25回研究会	さいたま市	7/8-9	研究主幹 津村秀信 主席研究員 砂原千寿子
平成16年度第2回理事会・総務委員会(合同)	さいたま市	9/7	所長 藤田淳二
第55回地方衛生研究所全国協議会総会	松江市	10/26	所長 藤田淳二
第41回全国衛生化学技術協議会年会	甲府市	11/18-19	主席研究員 西岡千鶴
第18回公衆衛生情報研究協議会総会及び研究会	和光市	2/17-18	主席研究員 藤川 勇
地方衛生研究所全国協議会中国・四国支部 事務打合せ	広島市	3/24	研究主幹 津村秀信 主席研究員 藤川 勇

## 2 学会等

(平成16年度)

## 環境科学部門

学会名等	開催地	日程	参加者
平成16年度瀬戸内海研究フォーラム in 京都	京都市	9/7-8	主任研究員 鈴木佳代子
第7回日本水環境学会シンポジウム	東京都	9/13-14	主席研究員 笹田康子
全国環境研協議会騒音振動担当者会議	甲府市	9/15	主任研究員 田村 章
第45回大気環境学会	秋田市	10/20-21	主任技師 野崎一伸
第31回環境保全・公害防止研究発表会	東京都	11/4-5	主席研究員 串田光祥 嘱 託 張志保子
廃棄物学会	高松市	11/17-19	主席研究員 西原幸一
第46回環境放射能調査研究成果発表会	東京都	12/9	主席研究員 小山 健
瀬戸内海水質汚濁研究会	松山市	1/28	主任研究員 白井康子
第20回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市	2/16-17	主任研究員 白井康子
日本水環境学会年会	千葉市	3/17-19	主席研究員 笹田康子 嘱 託 石原 暁
第52回日本生態学会大会	大阪市	3/27-29	主任研究員 白井康子

## 廃棄物・リサイクル部門

学会名等	開催地	日程	参加者
廃棄物学会	高松市	11/17-19	主席研究員 藤田久雄

## 保健科学部門

学会名等	開催地	日程	参加者
日本獣医公衆衛生学会	松山市	9/4-5	研究主幹 津村秀信 主席研究員 三木一男
第32回マス・スクリーニング学会、第27回技術部会	仙台市	10/8-9	主席研究員 野田陽子
カキの安心フォーラム	志摩郡	10/13-14	主席研究員 森下市子
平成16年度四国公衆衛生学会	松山市	2/10	主席研究員 多田千鶴子 西岡千鶴 山下みよ子 野田陽子



## 3 研修・講習会

(平成16年度)

## 環境科学部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
「日本における光化学オキシダント等の挙動解明に関する研究」第1回研究会	つくば市	5/21	主席研究員 小山 健
平成16年度第1回油汚染事故対策水鳥救護研修	日野市	10/18-19	主任研究員 白井康子
大気分析研修	所沢市	1/17-2/1	主任研究員 大西ひとみ
ダイオキシン類環境モニタリング研修(専門課程) 排ガスコース	所沢市	1/17-2/4	主任技師 野崎一伸
第22回環境科学セミナー	東京都	2/28-3/2	主席研究員 石川英樹 主任技師 野崎一伸

## 廃棄物・リサイクル部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
廃棄物分析研修	所沢市	9/1-16	主任研究員 三好益美
機器分析研修	所沢市	11/29-12/14	主任研究員 安藤友継

## 保健科学部門

研修・講習会名等	開催地	日程	受講者
平成16年度食品安全行政講習会	東京都	6/11	主席研究員 西岡千鶴
平成16年度全国家庭用品安全対策担当係長会議	東京都	6/24	主席研究員 山下みよ子
平成16年度先天性代謝異常症等検査技術者研修会 第1回結核地域分子疫学研究会	東京都 清瀬市	7/1-2 7/23	技 師 西内尚子 主席研究員 多田千鶴子
平成16年度動物由来感染症対策技術研修会及び 第4回人と動物の共通感染症研究会学術集会	東京都	11/5-6	主任技師 多田芽生
先天性代謝異常・内分泌スクリーニング検査基礎 技術研修	東松山市	11/8-9	主任研究員 土取みゆき
平成16年度稀少感染症診断技術研修会	東京都	2/21-22	主席研究員 森下市子
平成16年度食肉及び食鳥肉衛生技術研修会並びに 衛生発表会	東京都	2/21-22	主席研究員 三木一男
水道における耐塩素性病原微生物検査に関する 研修会	和光市	3/23	主席研究員 砂原千寿子

## 4 連絡会議等

(平成16年度)

## 環境科学部門

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
平成16年度環境技術実証モデル事業検討会	東京都	6/1	主席研究員 笹田康子
平成16年度化学物質環境汚染実態調査説明会	東京都	6/11	技 師 高尾仁士
平成16年度環境放射能調査担当機関連絡会	東京都	6/11	主席研究員 小山 健
「平成16年度瀬戸内海環境情報基本調査」 第1回検討作業会議	神戸市	6/15	主席研究員 多田 薫
「平成16年度瀬戸内海環境情報基本調査」 第1回検討委員会及び第2回検討作業会	広島市	7/23	主席研究員 多田 薫
平成15年度環境測定分析統一精度管理調査結果 説明会	岡山市	8/4	主任技師 野崎一伸 技 師 高尾仁士
平成16年度環境測定分析統一精度管理中国・四国 ブロック会議	岡山市	8/5	主任技師 野崎一伸 技 師 高尾仁士
瀬戸内海水質汚濁研究公害研会議に係る企画検討会	松山市	9/2	主席研究員 毛利孝明
第14回全国酸性雨対策連絡会議	秋田市	10/19	主任技師 野崎一伸
「平成16年度瀬戸内海環境情報基本調査」 第3回検討作業会議	神戸市	12/16	主席研究員 多田 薫
C型共同研究「日本における光化学オキシダント等 の挙動解明に関する研究」の第2回研究会	京都市	1/20-21	主席研究員 小山 健
第28回瀬戸内海水質汚濁研究公害研会議	松山市	1/28	主任研究員 白井康子
「平成16年度瀬戸内海環境情報基本調査」 第2回検討委員会及び第4回検討作業会	広島市	2/17	主席研究員 多田 薫
有機性排水処理技術WG準備会合	東京都	3/1	主席研究員 笹田康子 技 師 岡井 隆
平成16年度酸性雨モニタリング(陸水)調査結果 ヒヤリング及び委託業務説明会	東京都	3/3	主席研究員 多田 薫
平成16年度放射能分析確認調査技術検討会	東京都	3/18	主席研究員 日野康良 主席研究員 小山 健
環境省実証モデル事業有機排水処理技術 第2回WG会	東京都	3/31	主席研究員 笹田康子 技 師 岡井 隆
腸管出血性大腸菌感染症対策会議	岡山市	4/26	主席研究員 砂原千寿子
平成16年度全国家庭用品安全対策担当係長会議	東京都	6/24	主席研究員 山下みよ子
平成16年度四国4県衛生環境研究所担当職員 打合せ会	松山市	9/3	研究主幹 津村秀信 主席研究員 山下みよ子
リステリア菌の汚染の動向と制御	東京都	1/19	主任技師 多田芽生
平成16年度四国4県衛生環境研究所担当職員 打合せ会	松山市	1/17	研究主幹 津村秀信

## 保健科学部門

連絡会議名等	開催地	日程	出席者
平成16年度地域保健総合推進事業に係る地域ブロック会議及び専門委員会	広島市	2/3-4	所長 藤田淳二 研究主幹 津村秀信
平成16年度第2回地域保健総合推進事業の地方衛生研究所ブロック長等会議	東京都	3/11	所長 藤田淳二
平成16年度「日常食品中の汚染物質摂取量調査研究」報告会	東京都	3/14	主席研究員 西岡千鶴
平成16年度第3回四国4県衛生研究所担当者打合せ会	松山市	3/23	研究主幹 津村秀信

## XI 講演、研修会等の概要

## 1 講演

(平成16年度)

開催日 場所	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
6月29日 観音寺市: 老人憩の家	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	観音寺市老人クラ ブ連合会役員	水の話あれこれ～おいし い水、危険な水 主席研究員 藤川 勇	36
7月6日 琴南町: 総合センター	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	中央婦人学級生	地球にやさしい暮らし～ゴ ミ問題とリサイクル 主席研究員 高橋敏夫	30
7月12日 財田町: 中央公民館	お年寄りのための消費者講座 消費生活センター主催	高齢者	家庭でできる食中毒の予 防 主席研究員 砂原千寿子	65
8月4日 高松市: 高松市日新公民館	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	公民館講座生	水の話あれこれ～おいし い水、危険な水 主席研究員 藤川 勇	18
8月22日 善通寺市: 稲木北部集会場	稲木町自治会 希少植物講演	オニバスを守る会 の会員	絶滅が心配される水生植 物オニバスの生態につい て 嘱託 石原 暁	80
10月15日 さぬき市: さぬき市長尾公民 館	お年寄りのための消費者講座 消費生活センター主催	高齢者	インフルエンザの流行に 備えて 主幹 津村 秀信	150
11月24日 内海町: 働く婦人の家	生活設計情報教室 「くらしのセミナー」 消費生活センター主催	勤労婦人他	インフルエンザの流行に 備えて 主席研究員 三木一男	15
12月14日 善通寺市: 善通寺市民会館	文化財保護協会 前池のオニバスを守る会	文化財保護協会 の会員	前池のオニバスについて 嘱託 石原 暁	60

## 2 研修会(外部)

(平成16年度)

開催日	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
7月21日	環境汚染物質学習会 「ダイオキシン類の測定技術に ついての研修」	香川県立高松工芸高等 学校 工業化学科 (2年生)	主席研究員 山本 務 主席研究員 石川 英樹 主任研究員 鈴木佳代子 主任研究員 田村 章	10
9月6日～ 9月17日	高知工科大学インターンシップ	高知工科大学4年生	研究主幹 岩崎 幹男 ほか14名	1

## 3 研修会(内部)

(平成16年度)

開催日	研修名等	対象等	内容・講師等	人員
6月3日	ISO環境マネジメント研修	転入者	基礎セミナー 次長 塚本 武	3
10月21・ 22・27日	ISO環境マネジメント研修および 特別管理廃棄物に関する研修	全職員	全体研修 高橋 敏夫・山本 務	66
2月23日	放射線障害予防研修 (規定第24条に基づく教育及び訓練)	放射線取扱者	教育および訓練 西原 幸一	15

## 4 第3回 かがわ環境研・フォーラム 調査研究発表会

日 時 平成17年3月11日(金)  
場 所 香川県環境保健研究センター 研修室(3階)  
出席者 110名

## (1)調査研究発表

- ① 水田からの汚濁負荷の流出特性 笹田 康子
- 
- ② 観音寺局における浮遊粒子状物質高濃度現象の解析(Ⅱ) 日野 康良
- 
- ③ 畜産系コンポスト処理時の臭気低減化に関する研究  
—残留臭気の高濃度化(二次処理)に関する研究— 串田 光祥
- 
- ④ Adenovirus3 による地域特異性流行像に関する疫学的解析 三木 一男
- 
- ⑤ 香川県における日常食品中のクロロデン、有機スズ化合物  
の摂取量について 西岡 千鶴

## XII 環境研・学習サポートボックス事業

(平成16年度)(講師派遣を除く)

月 日	学 校 名 等	対 象	内 容	人 員
4月7日	高松市立屋島西小学校	教諭	施設見学	2
4月26日	高松市立屋島西小学校	5年生	施設見学	139
5月21日	観音寺市立観音寺東小学校	4年生	現地体験学習	43
6月3日	さぬき市立松尾小学校	4年生	現地体験学習	24
6月4日	牟礼町立牟礼北小学校	5年生	現地体験学習	65
6月4日	塩江町立上西小学校	5・6年生	現地体験学習	6
6月7日	高松市立多肥小学校	教諭	施設見学	1
6月8日	坂出市立王越小学校	6年生	現地体験学習	7
6月10日	高松市立多肥小学校	5年生	施設見学	72
6月10日	一般見学	—	施設見学	2
6月11日	高松市立木太北部小学校	教諭	施設見学	2
6月14日	高松市立木太北部小学校	5年生	施設見学	104
6月15日	東かがわ市立誉水小学校	4年生	現地体験学習	44
6月17日	東かがわ市立福栄小学校	4年生	現地体験学習	15
6月18日	四国電力(株)火力本部坂出發電所	—	施設内体験学習	40
6月22日	東かがわ市立白鳥小学校	5・6年生	現地体験学習	78
6月24日	坂出市立金山小学校	5年生	現地体験学習	40
6月24日	県立高松工芸高等学校	教諭	施設見学	2
6月25日	さぬき市立鳴部小学校	4年生	現地体験学習	21
6月28日	さぬき市立神前小学校	4年生	現地体験学習	16
6月29日	坂出市立府中小学校	5年生	現地体験学習	49
6月29日	兵庫県洲本市学校事務研究協議会	—	施設内体験学習	12
7月1日	下笠井中学校若竹学園若竹学級	小7中10中卒6	施設見学	28
7月2日	さぬき市立津田小学校	6年生	現地体験学習	44
7月5日	財田町立財田上小学校	4年生	現地体験学習	30
7月8日	坂出市立瀬居中学校	1～3年生	現地体験学習	32

(平成16年度)(講師派遣を除く)

月 日	学 校 名 等	対 象	内 容	人 員
7月9日	三木町立白山小学校	4年生	現地体験学習	61
7月14日	加ト吉株式会社	—	施設見学	15
7月21日	私立藤井中学校	2年生	現地体験学習	11
7月22日	ミルの会	会員	施設見学	4
7月26日	丸亀市立東中学校	2年生	施設内体験学習	1
7月27日	高松市立新塩屋町小学校	1～4年生	施設見学	6
7月28日	さぬき市親子	2才～4年生	施設見学	3
8月4日	親子(高松市立下笠井小学校)	2・5年生・母	施設内体験学習	6
8月6日	親子(高松市立栗林小学校)	4年生・母	施設内体験学習	5
8月10日	塩江町立上西小学校	5・6年全校生	現地体験学習	25
8月11日	親子	4年生・母	施設見学	2
8月12日	香川大学法学部技術提携グループ	中国人等	施設見学	10
8月13日	親子	3年生・母	施設見学	3
8月17日	親子(高松市立新塩屋町小学校)	6年生・母	施設内体験学習	2
8月19日	親子(高松市立新塩屋町小学校)	2・6年生・母	施設内体験学習	6
8月20日	親子(屋島西小学校)	4年生・母	施設内体験学習	2
8月24日	親子(栗林小学校・太田中学校)	5年生・中2・母	施設内体験学習	3
9月1日	高松市立紫雲中学校	1年生	現地体験学習	25
9月2日	高松市立紫雲中学校	1年生	現地体験学習	25
9月3日	三木町立小叢小中学校	小3～中3	現地体験学習	20
9月6日	高知工科大学	4年次生	施設見学	1
9月10日	香川大学医学部医学科	4年次生	施設見学	98
9月13日	丸亀市立城乾小学校	4年生	現地体験学習	45
9月14日	三木町立三木中学校	2年生	施設内体験学習	22
9月15日	三木町立三木中学校	2年生	施設内体験学習	23
9月17日	県立三木高等学校	3年生	施設内体験学習	1

(平成16年度)

月 日	学 校 名 等	対 象	内 容	人 員
9月24日	丸亀市立城西小学校	4年生	現地体験学習	90
9月28日	観音寺地区消費者友の会	友の会会員	現地体験学習	70
10月5日	高松市立屋島西小学校	5年生	現地体験学習	134
10月6日	高松市立香東中学校	1年生	施設内体験学習	102
10月14日	東かがわ市立丹生小学校	4年生	現地体験学習	50
10月21日	さぬき市富田小学校	4年生	現地体験学習	32
10月25日	丸亀市立飯山北小学校	4年生	現地体験学習	112
10月27日	高瀬町保健委員	保健委員	施設見学	80
11月10日	埼玉県職員	国際交流課職員	施設見学	6
11月10日	高松市立香東中学校	1年生	施設内体験学習	103
11月10日	さぬき市津田小学校	6年生	施設内体験学習	46
11月17日	高松市立新塩屋町小学校(研究発表会)	6年生	ゲストティーチャー	31
11月19日	香川町立大野小学校	4年生	現地体験学習	37
11月26日	高松市弦打小学校	4年生	現地体験学習	96
11月26日	高松市鶴打小学校	4年生		99
12月3日	綾南町立羽床小学校	3・4年生		36
2月13日	平成15年度全国湖沼河川養殖研究会 近畿・中国・四国ブロック研究会	研究員	施設見学	12
2月26日	詫間町消費者行政連絡協議会	協議会会員	施設見学	21
3月10日	琴平町環境衛生課	琴平町くらしの会	施設見学	50
1月6日	吉美国際大学政策マネジメント学部	大学4年生	施設見学・利用	2
1月28日	徳島県議会議員	—	施設見学・業務調査	1
2月16日	高松市立仏生山小学校	4年生	現地体験学習	67
2月24日	香川大学教育学部	大学4年生	施設内体験学習	8
合 計				2,628



## XIII 環境森林部 環境教育・環境学習事業

「環境キャラバン隊事業」の支援(総対象のうち支援対象に限る)

(平成16年度)

月 日	学 校 名 等	対 象	区 分	人 員
5月13日	大野原町立大野原小学校	5年生	現地体験学習	78
5月19日	高松市立太田小学校	5年生	現地体験学習	132
5月28日	丸亀市立城東小学校	4年生	現地体験学習	114
6月16日	坂出市岩黒小中学校	小1～中1	現地体験学習	15
6月18日	善通寺市立中央小学校	5年生	現地体験学習	117
6月22日	庵治町立庵治小学校	4年生	現地体験学習	66
6月23日	丸亀市立城東小学校	4年生	現地体験学習	113
6月25日	さぬき市長尾中学校	1年生	現地体験学習	136
7月12日	高松市木太南小学校	4年生	現地体験学習	88
7月13日	高松市立古高松南小学校	5年生	現地体験学習	70
7月23日	丸亀市西汐入川・金倉川イベント	親子	現地体験学習	30
9月2日	高松市太田中学校	1年生	現地体験学習	230
10月4日	満濃町立四条小学校	4年生	現地体験学習	35
10月7日	詫間町立粟島中学校	1～3年生	現地体験学習	13
10月18日	綾南町羽床小学校	3・4年生	現地体験学習	36
10月26日	高松市龍雲中学校	1年生	現地体験学習	175
11月12日	高松市立古高松小学校	5年生	現地体験学習	144
11月30日	土庄町立四海小学校	4年生	現地体験学習	25
2月25日	高松市円座小学校	5年生	現地体験学習	108
合 計			19件	1,725

## XIV 環境保全・保健衛生関係行事

(平成16年度)

期間実施	行事名	場所	参加人数
7月3日	土器川水生生物調査	丸亀市土器町	200
10月2～3日	第24回全国豊かな海づくり大会	サンポート高松	800
11月7日	環境フェスタ	サンポート高松	1000
12月4日	こどもエコスクール2004開催の活動支援	満濃町森林公園	38

## XV 環境月間行事等

テーマ 「循環型社会 捨てずに生かす 新時代」

期 間 平成16年6月1日～6月30日（土曜、日曜を除く）

(平成16年度)

環境月間行事名	期 間	実 施 場 所	備 考	人員
環境保健研究センター施設公開	6/1-6/30	環境保健研究センター	見学者等	235
環境ライブラリーの利用促進	6/1-6/30		見学者等	176
環境パネル展示	6/1-6/30		見学者等	235
香川の自然環境写真展	6/1-6/30		「香川の自然環境・野鳥」などの写真20点 余展示	235
「残したい日本の音風景 100選」鑑賞会ビデオ版	6/13	環境保健研究センター 3階研修室 「残したい日本の音風景 100選」は、環境庁（現環境省）の選定		52
施設内及び現地体験学習、 施設見学	6/3	現地体験学習	さぬき市立松尾小学校	24
	6/4	〃	牟礼町立牟礼北小学校	65
	6/4	〃	塩江町立上西小学校	6
	6/8	〃	坂出市立王越小学校	7
	6/10	施設見学	高松市立多肥小学校	72
	6/14	〃	高松市立木太北部小学校	104
	6/15	現地体験学習	東かがわ市立誉水小学校	44
	6/17	〃	東かがわ市立福栄小学校	15
	6/18	施設内体験学習	四国電力（燐火力本部坂出發電所）	40
	6/22	現地体験学習	東かがわ市立白鳥小学校	78
	6/24	〃	坂出市立金山小学校	40
	6/25	〃	さぬき市立鴨部小学校	21
	6/28	〃	さぬき市立神前小学校	16
	6/29	〃	坂出市立府中小学校	49
	6/29	施設内体験学習	兵庫県洲本市学校事務研究協議会	12
環境キャラバン隊支援事業	6/16	現地体験学習	坂出市立岩黒小中学校 小1～中1年生	15
	6/18	〃	善通寺市立中央小学校 5年生	117
	6/22	〃	庵治町立庵治小学校 4年生	66
	6/23	〃	丸亀市立城東小学校 4年生	113
	6/25	〃	さぬき市立長男中学校 1年生	136

## XVI 環境ライブラリー事業

(平成16年度)

種類 対象	パネル貸出		ビデオ貸出		図書貸出		資器材貸出	
	(件)	(枚)	(件)	(本)	(件)	(冊)	(件)	(品目)
学 校 関 係	0	0	6	30	2	3	2	7
公 共 団 体	4	33	2	10	1	33	7	17
企 業	0	0	1	1	0	0	2	2
婦 人 団 体 等	0	0	0	0	0	0	1	3
一 般	0	0	0	0	1	3	1	1
計	4	33	9	41	4	9	13	30

備考：学校関係は生徒を含む。スライドの貸出利用なし。

資器材は、環境庁（現 環境省）の総合環境学習ゾーン用の学習資器材。

# 香川県環境保健研究センター規則

平成14年3月29日

規則第53号

## (設置)

第一条 環境の保全及び保健衛生に関する調査、研究等の業務を行うため、香川県環境保健研究センター（以下「センター」という。）を高松市に置く。

## (業務)

第二条 センターの業務は、次のとおりとする。

- 一 地球環境保全、公害の防止及び自然環境の保全その他の環境の保全に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 二 廃棄物の処理及び有効利用に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 三 微生物、医動物及び臨床病理等に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 四 食品、薬品、家庭用品、飲用水及び温泉等に関する調査、研究、試験及び検査に関すること。
- 五 環境の保全及び保健衛生のための技術の開発に関すること。
- 六 環境の保全及び保健衛生に関する研修、講習及び指導に関すること。
- 七 環境の保全及び保健衛生に関する情報の収集、解析及び提供に関すること。

## (業務分掌)

第三条 センターに、総務企画課を置く。

- 2 総務企画課の分掌事項は、次のとおりとする。
  - 一 予算及び決算に関する事項
  - 二 会計に関する事項
  - 三 職員の身分、服務及び給与に関する事項
  - 四 公印の保管に関する事項
  - 五 文書の收受、発送、編集及び保存に関する事項
  - 六 庁舎管理に関する事項
  - 七 環境の保全及び保健衛生に関する研修、講習及び指導の計画に関する事項
  - 八 環境の保全及び保健衛生に関する情報の収集、解析及び提供に関する事項
  - 九 その他他の所掌に属さない事項

## (職員)

第四条 センターに、次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 次長
- 三 研究主幹
- 四 課長
- 五 副主幹
- 六 主席研究員
- 七 主任主査
- 八 係長
- 九 主査
- 十 主任研究員
- 十一 その他の職員

## (職務)

- 第五条 所長は、上司の命を受けてセンターの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。
- 2 次長は、所長の命を受けて担任する業務を掌理し、当該業務を担当する職員を指揮監督する。
  - 3 研究主幹及び主席研究員は、上司の命を受けて担任する業務を掌理し、当該業務を担当する職員を指揮監督する。
  - 4 課長は、上司の命を受けて課に属する業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。
  - 5 副主幹、主任主査及び主査は、上司の命を受けて、特定の業務を処理する。
  - 6 係長及び主任研究員は、上司の命を受けて、業務を処理する。
  - 7 その他の職員は、上司の命を受けて、業務に従事する。

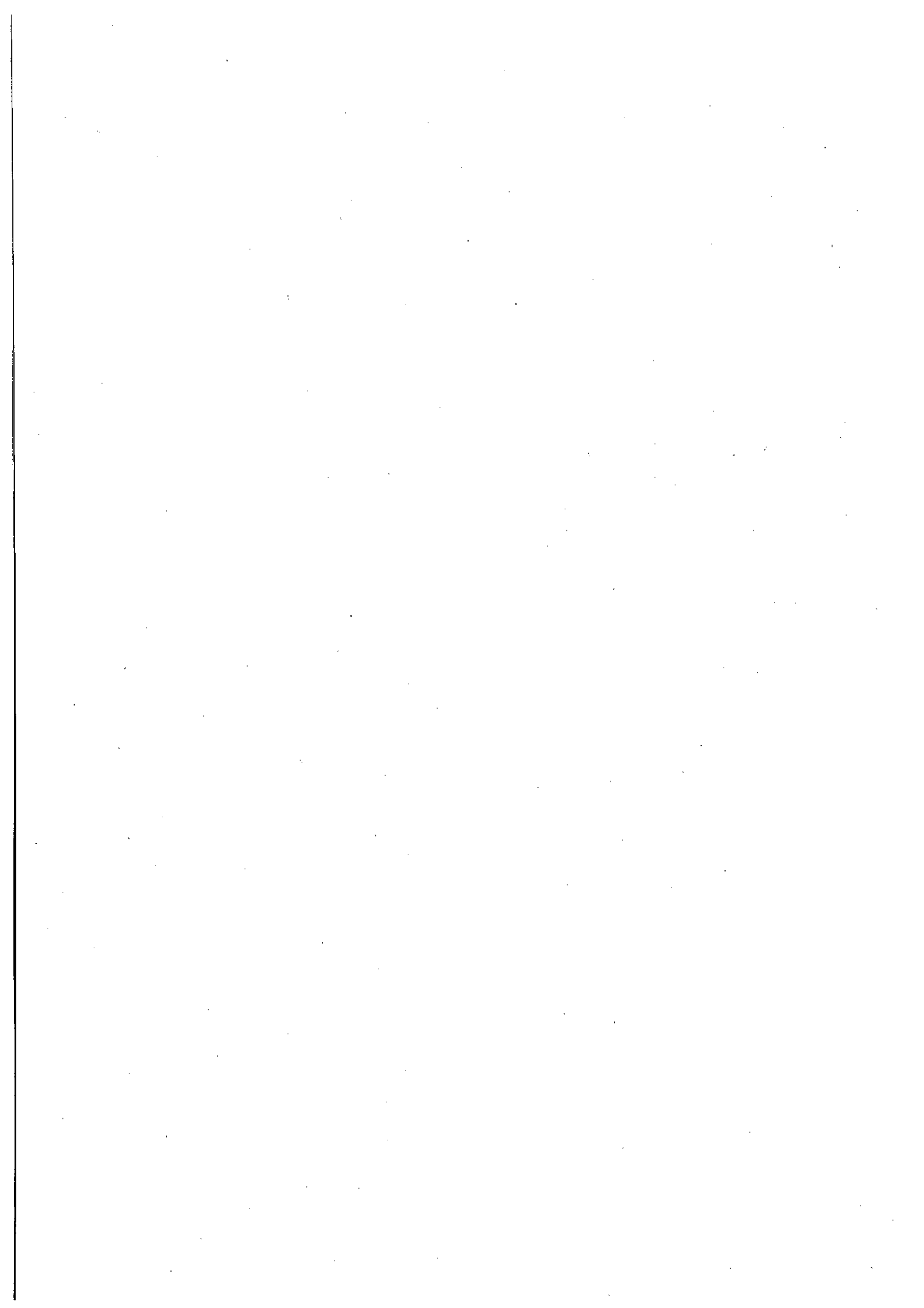
## (補則)

第六条 この規則に定めるもののほか、センターの業務の処理について必要な事項は、別に定める。

## 附則

### (施行期日)

- 1 この規則は、平成14年4月1日から施行する。



## 香川県環境保健研究センター所報投稿規定

- 1 所報は、香川県環境保健研究センターにおいて行った調査研究の業績等を掲載する。投稿者は原則として本研究センター職員とする。但し、共同研究者（※印をつけ脚注欄に所属先を示す）については、この限りではない。研究投稿内容は総説、調査研究、資料とする。
- 2 原稿は、原則として下記の様式1に基づき作成し、原稿（図表含む）及びフロッピーディスク（ソフト名及び保存ファイル名を記載）を提出する。また、投稿内容の概要を下記の様式2に従い提出すること。
- 3 調査研究については、次の順序に従って記載する。表題、著者名、表題（英文）、著者名（ローマ字）、要旨、キーワード、Ⅰ 緒言（はじめに）、Ⅱ 方法、Ⅲ 結果、Ⅳ 考察、Ⅴ まとめ、文献の順序とし、頁数は8頁以内にまとめる。
- 4 要旨は400字程度とし、一行50字以内とする。
- 5 番号の付け方は、Ⅰ…、1…、(1)…、①…、a…、とし、ゴシック体とする。  
例) Ⅰ はじめに  
Ⅱ 方法  
1 材料  
(1) 〇〇…
- 6 図表名は、図の場合は下部に「図1 〇〇」、表の場合は上部に「表1 〇〇」のように番号順に表示する。文献は文章の右肩に、<sup>1), 2)</sup>…のように示し、一括して最後に引用番号順に配列する。  
(1)雑誌の場合； 著者名：表題、雑誌名、巻(号)、頁、(西暦)  
例1 環境 太郎、保健 花子：有機水銀の体内分布について、生化学、26(2)、124-135、(2002)  
(2)単行本の場合； 原著者名：書名(版)、頁、発行所(発行地)、(西暦)  
例2 瀬戸 渡：改訂 食中毒(第2版)、26-50、さぬき出版(香川)、(2002)
- 7 投稿締め切り日は、毎年10月31日とする。
- 8 様式1：A4版縦、二段組、一行25字(画)、10.5ポイント、MS明朝体

表 題	14ポイント全角
表 題 (英 文)	Century12ポイント
著 者 名	10.5ポイント全角
著 者 名 (ローマ字) (例 Noboru ASAHI)	
要 旨 (400字程度、一行50字以内)	10.5ポイント全角
キーワード：	
Ⅰ 緒言 (はじめに)・・・	12ポイント全角 (MSゴシック)
Ⅱ 方法・・・	
Ⅲ 結果・・・	
Ⅳ 考察、・・・	
Ⅴ まとめ・・・	
文献・・・	

- 9 様式2：A4版横、香川県環境保健研究センター(〇〇号)概要 原稿と共に提出する。

表題	論文の種類	著者名	目的、結果、得られた必要な知見や論点を中心に記載

- 10 様式3：A4版横 提出締め切り日は、毎年8月10日とする。  
1 表題                      2 所属及び氏名              3 投稿の概要

香川県環境保健研究センター所報編集委員会

委員長 津村 秀信  
委員 武田 寛次  
委員 香川 静則  
委員 岩崎 幹男  
委員 小山 健  
委員 山本 務  
委員 西岡 千鶴  
委員 笹田 康子  
委員 砂原千寿子

---

香川県環境保健研究センター所報 第4号

2005 Vol. 4

---

編集・発行 香川県環境保健研究センター

〒760-0065 香川県高松市朝日町5丁目3-105

TEL 087-825-0400 FAX 087-825-0408

E-mail: kanpoken@pref.kagawa.lg.jp

E-mail: kagawa-kanpoken@nifty.ne.jp (環保研・学習サポートボックス)

HP: [http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/e\\_center/hoken.htm](http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/e_center/hoken.htm)

総務企画課	総務担当	087-825-0400
	企画情報担当	087-825-0415
環境科学部門	水質担当	087-825-0401
	大気担当	087-825-0402
	常時監視担当	087-825-0403
	自然環境担当	087-825-0401
廃棄物・リサイクル部門	廃棄物担当	087-825-0405
	資源化・リサイクル担当	087-825-0405
保健科学部門	微生物担当	087-825-0412
	生活科学担当	087-825-0413
	臨床科学担当	087-825-0414

編集・発行 平成17年12月1日  
印刷 株式会社 中央印刷所